注3

大学番号:私007

[平成27年度設置]

計画の区分:学部学科設置

注1

認可

## 日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

## 学校法人日本医療大学 平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学生支援グループ

職名・氏名 岡村 誠一郎

電話番号 011-885-7711

(夜間) 011-885-7711

F A X 011-885-5757

e — mail s\_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学新設の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 保健医療学部

< J	リハビリテーション学科>	/	\ <u>^</u> –	ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	10
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	1 1
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	12
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	21
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	23
	建医療学部			
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻>	/	<b>^</b> -	
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	26
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	30
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	35
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	36
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	37
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・	•	•	46
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	48
くし	リハビリテーション学科 作業療法学専攻>	,	<b>~</b> -	ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	51
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	55
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	60
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	61
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	62
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	71
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	73

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人日本医療大学

- (2) 大 学 名 日本医療大学
- (3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号 (〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	( ツシマ ノリアキ ) 対 馬 徳 昭 <sub>(平成5年4月)</sub>		
学長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学 部 長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 <b>公 美</b> (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( ) 書きで記入してください。
  - (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

#### (5) 一① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の			備	考		
名称 (学位)	修業年限	VĦ	75			
保健医療学部 リハビリテーション学科 学士(リハビリテーション学)	4年	80人	_	320人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成2	5年度	平成2	6年度	平成 2	7 年度	平成2	8 年度	平均入学定員	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	VHI	73
	-	-	-	-	80人	_	80人	人			
A 入学定員	( –	) - 1	( -	- ) - 1	( <b>-</b>	- ) - 1	( -	- ) - 1			
	_ [		_		99人		144人				
志願者数	( - )	( – )	( – )	( - )	( – )	( - )	( - )	( - )			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
	-	-	-	-	98人	_	139人	-			
受験者数	( – )	( - )	( – )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	0.76倍		
		[ – ]							0. 70IB		
A 15			_	_	82人		101人				
合格者数	( – )	( – )	( – )	( – )	( - )	( – )	( – )	( – )			
	[ — ]	[ — ]	[ – ]								
	-			_	53人		69人	_			
B 入学者数	( – )	( – )	( – )	( – )	( – )	( – )	( – )	( – )			
1 # 4 2 4 7 12 4		[ — ]		[ — ]	[ — ]	[ - ]	[ – ]	[ - ]			
入学定員超過率 B/A	_		-	-	0.6	6倍	0. 8	6倍			

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - · 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成 2	5年度	平成2	6年度	平成 2	7年度	平成2	8 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
1 年次	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1人)	(-)		
	-	_	-	-	53人	-	70人	-		
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
2 年次	/		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
			-	_	-	-	52人	-		
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
3 年次	/				(-)	(-)	(-)	(-)		
					-	-	-	-		
							[ - ]	[ - ]		
4 年次	/						(-)	(-)		
							-	-		
	[ .	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]		
計	(	<b>–</b> )	( -	- )	( -	- )		人 )		
		-	-	_	53	人	12:	2人		

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退当	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合	
対象年度			退学した年度 退学者数 <sup>退学者数の</sup> うち留学生数		退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)	
			平成25年度	- 人	- 人	-		
平成25年度	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人	-	- %	
入学者			平成27年度	- 人	- 人	-		
			平成28年度	- 人	- 人	-		
			平成26年度	- 人	- 人	-		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-	- %	
			平成28年度	- 人	- 人	-		
平成27年度	53 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	-	0 %	
入学者	50 X	٥χ	平成28年度	0 人	0 人	-	0 70	
平成28年度 入学者	69 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	-	0 %	
合 計	122 人	0 人					0 %	

- (注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
    - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

## <保健医療学部 リハビリテーション学科>

## (1) 授業科目表

科目		配当		単位数	Į		専任	教員	等の	配置			
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教力	受准教持	受講	師	助教	助手	1	備考
	心理学	1前	1						Ì			兼1	
	発達心理学	1後		1								兼1	
	生物学	1前		2								兼1	
	物理学	<del>1後</del> 1前		2								兼1	担当教員の都合により,配当学期を変更
	生活科学	1後		1								兼1	
	環境科学	1前		1								兼1	
	生活と運動	1後	1									<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
	健康とスポーツ	1後		1								<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
	統計学	1後		1								兼1	
	情報科学	1前	1									兼1	
	情報科学演習	1前		1						1			
	人間発達学	2後	2									兼1	
基	倫理学	1前	1									兼1	
礎	生命倫理	1後	1									兼1	
	哲学	1後		1								兼1	
教	論理学	1前		1								兼1	
育	宗教と思想	2前		1								兼1	
科	人間関係論	1後		1								兼1	
	文化人類学	1後		1								兼1	
目	社会学	1後		1								兼1	
	音楽	2後		1								兼1	
	法学	1前		1								兼1	
	教育学	1前		1								兼1	
	北海道史	1前		1								兼1	
	ボランティア活動	2後		1								兼1	
	日本語表現	1前	1									兼1	
	英語I	1前	1									兼1	
	英語Ⅱ	1後	1									兼1	
	英語Ⅲ	2前		1								兼1	
	英語IV	3前		1								兼1	
	中国語	1後		1								兼1	
	韓国語	2前		1								兼1	
	解剖学 解剖学演習(骨・筋)	1前 1前	4 2					1	9			兼1	27年1月教員審査済
専	THE THE (H MM)	1 1919	2					1	2				新員追加 (28) 「担当 向井康詞 (講師)
門													平成28年1月教員審査済 判定可
	解剖学演習(神経)	1後	1									兼1	#UR Vistor (co)
基	体表解剖学	1前	1					1					教員追加 (28) 「担当 向井康詞 (講師)
礎	<b>操华韶</b> 刘学	1後	1					1					【平成28年1月教員審査済 判定可 27年1日教員審本済
教	機能解剖学生理学	1版	4					1				兼1	27年1月教員審査済
	生理学演習	2前	1			1		1					27年1月教員審査済
育	<b>運動学</b>	2前	4			1		1					21 〒1月 教具番車仍
科	運動学演習	2例	1			1				3			
目		<del>1後 1前</del>	2			1				J		兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	病理学	1後	4	2								NK1	担当教員の都合により、配当学期を変更 (28)
	栄養学	1前		2								兼1 兼1	
	臨床心理学	2前 2後		2								兼1	
専	カウンセリング論												
	教育心理学	2前	0	2								兼1	
門	内科学	2前	2			1	l					兼1	

1	1	l ., l	1	ı	ı	1	ı	ı	1	1 1	l	
基	整形外科学	2前	2								兼1	
-44	神経内科学	2前	2								兼1	
礎	精神医学	2後	2								兼1	
教	小児科学	2前	1								兼1	
女	障害学特論	2後		2							兼3	
育	リハビリテーション論	1後	2			1						
科	チーム医療論	3前	1			1					兼4	
	保健医療論	2後		1							兼1	
	社会福祉学	1後		1							兼1	
	健康政策論	4後		1							兼3	
	理学療法概論	1前		1							兼1	
	理学療法概論演習	1後		1							兼1	
	理学療法セミナー I	1後		1				1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1				H27年3月教員審査中
	作業療法概論	1前		1		1						
	作業療法概論演習	1後		1		1			1			教員変更 (28) ┌ 担当 八田達夫 (教授)
		.,										
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1				1				教員追加(28)
	基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1				1				教員追加(28)
	作業療法セミナーI	1後		1			1					27年1月教員審査済
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1						
	作業療法セミナーⅢ	3前		1			1					
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1				1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28)
												「担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		兼1	□ 下灰20年1万 狄貝番且仍 一刊足可
	理学療法評価学 (神経系)	2通		1					-		兼2	
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2							兼2	
	臨床判断学(基礎編)	2後		1				1			XR2	教員未定のため変更書提出予定
	America (State of State of Sta	- ~										教員追加 (28)
												☐担当 向井康詞(講師) □平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床判断学 (応用編)	3後		1				1				教員未定のため変更書提出予定 <mark>教員追加(28</mark> )
												教員追加(28) 广担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	作業療法評価学	2前		1		1						_
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前		1					1		兼1	
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		1			1		兼1	教員変更 (28)
												「担当 坪田貞子(教授)   平成28年3月教員審査中
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後		2		1 0	1		2		兼1	教員変更 (28)
												<ul><li>□ 担当 大堀具視(准教授)</li><li>□ 平成28年3月教員審査中</li></ul>
	作業療法評価学演習 (中枢神経系)	2後		2					1		兼1	
	運動療法学	2前		1		1						
専	運動療法学演習	2後		1				1				
	運動器障害理学療法学	3前		1								教員未定のため変更書提出予定
門	運動器障害理学療法学演習	3前		1							兼1	
教	神経障害理学療法学	3前		1				1				
	神経障害理学療法学演習	3前		1				1				
育	呼吸·循環器障害理学療法学	3前		1		1						
科	代謝・免疫系障害理学療法学	3前		1		1					<del>第1</del>	教員追加
		3後		1				1			ANT ARE	same at 188
目	発達障害理学療法学					1		1				
	高齢期障害理学療法学	3後		1		1					¥6+	
	物理療法学	3前		1		1					兼1	
	物理療法学演習	3前		1		1					兼1	数是土ウのたは旅軍事項リマウ
	義肢装具学	3前		1		1		1				教員未定のため変更書提出予定 <mark>教員追加 (28)</mark>
	我以农分宁	SHil		1		1		1				「担当 西山徹(講師) 【平成28年1月教員審査済 判定可
												教員未定のため変更書提出予定
	義肢装具学演習	3前		1		1		1				教員追加 (28) 「担当 西山徹 (講師)
	口带化泛泛新生理兴	0.24		,				,				□ 平成28年1月教員審査済 判定可
	日常生活活動基礎学	3前		1				1				H27年3月教員審査中
	神経筋促通治療学	3前	I	1		1		l		l l		

ı	-to- N.J. ( m)/ lekk lake make -to- N/	044	Ī			l	ı				34. ·	<u> </u>
	高次脳機能障害学	3後		1							兼1	
	徒手関節治療学	3後		1							兼1	
	スポーツ理学療法学	3後		1							兼1	
	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2			1					
	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)	3前		1		1					兼1	
	精神障害作業治療学	3通		2							兼1	
	発達障害作業治療学	3通		2		1						
	高齢期障害作業治療学	3通		2							兼1	
	高次脳機能障害作業治療学	3前		1							兼1	
	義肢装具作業療法学	3前		1		1					兼1	
	義肢装具作業療法学演習	3前		1		1						
	日常生活適応学 (ADL)	3前		2		1						教員変更 (28)
												□ 担当 岸上博俊(教授) □ 平成28年3月教員審査中
	日常生活適応学 (動作分析)	3後		2			1					
	福祉用具学	3後		1		1						
	就労支援作業療法学	3後		1		1						
	作業療法治療学特論(治療理論)	3後		1							兼1	
	作業療法治療学特論(シーティング)	3後		1		1						
	作業療法治療学特論(行動分析)	3後		1							兼1	
	地域理学療法学	3前		1		1			1		兼2	
	生活環境学	3後		1		1						
	地域作業療法学	3前		1							兼1	
	福祉住環境論	3後		1			0 1					27年1月教員審査済
	臨床実習 I (理学療法)	2後		1		3		1 2 4	1			27年1月教員審査済
												教員追加 (28)   □ 担当   向井康詞 (講師)
												□ 平成28年1月教員審査済 判定可 □ 担当 西山徹 (講師)
												平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後		3		3		2 3 5	2			27年1月教員審査済 教員追加 (28)
												□ 担当 向井康詞(講師) □ 平成28年2月教員審査済 判定可
												一担当 西山徹 (講師) 平成28年2月教員審査済 判定可
	臨床実習Ⅲ (理学療法)	4前		16		3		2 3 5	2			27年1月教員審査済
												教員追加 (28)   丁担当   向井康詞 (講師)
												── 平成28年1月教員審査済 判定可 ── 担当 西山徹 (講師)
	refer the side VIV as (11 a Manufa M.)	- 44		_		_						平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床実習 I (作業療法)	2後		2		3	0 1		1			27年1月教員審査済 教員変更 (28)
												□ 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
専	臨床実習Ⅱ (作業療法)	3後		3		3	1 2		2			27年1月教員審査済 (27) 教員変更 (28)
												及員及文(20) 「担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
門	臨床実習Ⅲ(作業療法)	4前		16		3	<del>1</del> 2		2			27年1月教員審査済
教												教員変更 (28)
育												□ 担当 岸上博俊(教授) □ 平成28年3月教員審査中
	リハビリテーション管理学	4後	1				1	1				
科	呼吸リハビリテーション特論	3後		1							兼1	
目	応急処置法	3前		1							兼1	
	軟部組織治療学	3前		1							兼1	
	ウィメンズヘルスケア論	3前		1							兼2	
	災害リハビリテーション	3前		1							兼2	
	地域リハビリテーション学	2前	1				1					27年1月教員審査済
	地域リハビリテーション学演習	2前	1						1		兼2	
	研究法	3前	1			1						
	卒業研究 I	3後	1			6	<b>1</b> 2	2 3 5				27年1月教員審査済
												教員追加 (28)   □ 担当   向井康詞 (講師)
												L 平成28年1月教員審査済 判定可 「担当 西山徹(講師)
	<b>☆类ជ</b> 奈Ⅱ	477	0			c	1.0	0.05				平成28年1月教員審査済 判定可
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	± 2	2 3 5				27年1月教員審査済 教員追加 (28)
												型当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
												厂担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
Ь	l				1							F 1 West 1 1 Way W H TPIN LINE A

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上 で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは

- 赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任,兼担の教員が担当する授業科目については,備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
   「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

#### (2) 授業科目数

	設	置時	の計	画	変	更	状	況	備考
必	修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	加州
	32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
					[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
  - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

## (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし	

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0
設置時の計画の授業科目数の計	<del>-</del>	0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

## 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内					容			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		も用する 学校等の			計		日本福祉看護診療放射 線学院と共用:収容定
校		校舎	敷地	ţ		29, 831 m² <del>8, 886 m²</del>		20, 945	m <del>m</del>		C	)m <sup>*</sup>	29, 8	331 m <sup>2</sup>	四恨卒牛・なし
1X		運動	場用地			13, 710m²		0	m		C	)mi	13, 7	/10m²	牛、13, /10111
地		小	計	•		43, 541 m <del>22, 596 m</del>		20, 945	mi <del>mi</del>		C	)m²	43, 5	541 m²	駐車場、1年更新、 3,058㎡
等		そ	の他			3, 058 m²		0	m		C	)m <sup>*</sup>	3, 0	)58 m²	
9		合	計	•		46, 599㎡ <del>25, 654㎡</del>		20, 945				0 m <sup>2</sup> 46, 599 m			
					専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用			計		日本福祉看護診療放射線学院と共 用:収容定員400人 面積基準:1,480㎡
(2) 校			舎			16, 060. 03㎡ <del>11, 175. 86㎡</del>		0 <del>3, 179. 52</del>	mi <del>mi</del>				16, 060. <del>16, 818.</del>		
						5, 623. 13㎡) <del>1, 273. 46㎡)</del>		8, 630. 68m 8, 386. 92m		(1, 806. 22m²) - <del>(4, 158. 58m²)</del> -			(16, 060. 03 —(16, 818. 93		及び講堂の面積を除いたためであ り、建築等設置計画に変更なし)
				講	義室	演習	室	実験実	習室	情報処	青報処理学習施設		語学学習施	设	
(3) 教		室	等		11	<b>*</b>	11 荣		10字			1室 忄	青報処理室と	共用	
						室	11室		10室		助職員0	人)	(補助職員0)	()	
(4) 恵	任教	員研究	室			新設学部	新設学部等の名称				室		数		
(4/ 0	IT3X	×10/171	Ξ		保健医	療学部 リハ	ビリテーシ	/ョン学科					15	室	
		-== *** **	n 4-t-	3	書	学術	雑誌			視聴覚	資料	機械・器	具 標	本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変
(5)	新	i設学部 の名称		〔う	ち外国書〕	〔うちタ	国書〕	電子ジャ	ーナル	150 10-50	32411	120 120 HR			更あり(28)図書、学術雑誌、
						₩	種	〔うち外	国書〕		点		点	点	変更あり
図書	保任	建医療	学部		40 (237) 789[170])	2, 011 ( (2, 158	-			6	1	960	30		
· 設	リハヒ゛	リテーション	学科	<del>-(8,</del>	345[163]) 30 (157)	<del>(2, 006</del>	<del>[646])</del>	(8 [8	)	(61)		(961) <del>(960)</del>			
備					0 (237)	2, 011 (		8 (8)		6	1	960	30		
		計			789[170]) <del>30 [157])</del>	(2, 158 — <del>(1, 966</del>		(8 [8	)	(6	1)	(960)	(30)	)	
(6) 図	1	書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊 数		
(0)			K6			206. 61	m²			50席			14, 6	640 <del>Ⅲ</del>	
(7) 体		育	館		面	積			体育館以	外のスポ	ポーツ施	設の概要			
(1) 17		-	Д			556. 1	m²		7	ーニスコー	- <b>⊦</b> 1 į	面			
		経費 -	Z	Ξ	分	開設年度	年度 完成年度 区		分	開設前年度 開設年度 完成年度		度	(27)経費の見積り及び 資金計画の一部変更		
(8)			教員 1	人当り	研究費等	300千円				10, 10	<del>102 <b>†</b> 173</del>		2千円 3,000千円 3,000千円		
経費の積り及	見びし		共 同	研 3	究 費 等	3,000千円	3, 000 ₹	一円 設備	購入費		20千円 3 <del>8千円</del>	3, 383 <del>1</del> 2, 000 <del>1</del>		千円	
維持たの 概		学生 1 り		第	1 年次	第2年次	第	3年次	第4年	F次	第	5年次	第6年次	ጀ	
		納付	金		1,300千円	1, 300 <del> T</del>	1,300千円 1,300千円			円 1,300千円 千円				千円	
		学生紀	納付金.	以外の紀	維持方法の	概要									

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

## 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本	医療	大学	<u> </u>									備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年次		人		倍						
				人										
保健医療学部														
看護学科	4		80	-		320	学士	1. 07	平成26年度		<b>並札幌</b> 栄434	市清田 番地1		
リハビリテーション学科	4		80	-		320	学士	0. 76	平成27年度			市恵み 7番3号		
診療放射線学科	4		50	-		200	学士	1. 04	平成28年度		<b>∮札幌</b> 栄434	市清田 番地1		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
    - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
    - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

## <保健医療学部 リハビリテーション学科>

## (1) 担当教員表

			設置	時の計	画				変	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授 (学	傳野	隆一	平成27年4月	保健医療論チーム医療論	兼担	教授 (学 長)	傳野	隆一	平成27年4月	チーム医療論	
	長)				<b>,一厶</b> 医療酬	兼担	教授	島本	和明	平成28年4月	保健医療論	担当教員変更(兼担)(28)
専	教授	/ヌ/ 乾	<b>ギル</b> 公美	平成27年4月	生理動療装 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養	専	教授 (学科 長)	<i>仅</i> / 乾	キシハル 公美	平成27年4月	生理動療美學 養財療美學 養財療養學 養財療養學 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。
専	教授	幼心 高橋		平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸、得實習單學療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 在床業研究Ⅰ 本業研究Ⅱ							変更なし
専	教授	サトウ 佐藤		平成27年4月	リハロッション論 リハロック リカック リカック リカック リカック リカック と は アイ・カー リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック							変更なし
專	教授	<sup>ツオ*</sup> タ 坪田		平成27年4月	作業療法概論 作業療法標準 身体障害不治療学(運 身体障害系) 身体等療法等系法 動義股装具作業療法学 義肢装具作業療法学 護臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 卒業研究 I							変更なし
						専	教授	坪田	貞子	平成27年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
					作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専	教授	八田	達夫	平成28年4月	作業療法概論演習	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
車	教授	澤田	±# —	平成27年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(AD L)	専	准教授	大堀	具視	平成28年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
<b>ਜ</b>	**1×	<i>γ</i> ¥ III	<b>孫</b> 芘 ——	TM21+4月	正) 臨床実習 I(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	専	教授	岸上	博俊	平成29年4月	日常生活適応学(ADL) 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 等、研究 I 卒業研究 I	H28年3月変更書提出(審査中) (28)

			1	1						1
専	教授	ハッタ タツオ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 作業療法ときナー II 作業療法治療学特論(シーティグ) 就労支援作業療法学 卒業研究 I 卒業研究 I						変更なし
専	准教授	材材 片笔 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体体業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	專	准教授	<b>オオホリ</b> トモミ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナー団 身体を 事務法セミナー環学 (中枢神経障害、動 行分析と 一位の で学生活適応学 (中の大学でででである。 で発表法) を主義の で発表法) を主義の で発表法) を主義の でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでのである。 でのでのである。 でのでは でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのでは でのでのである。 でのでのでは でのでのでのである。 でのでのでのできまる。 でのでのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのででのできる。 でのででででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのででででででででで。 でのでででででででででででででででででででででで	(27)採用予定年月を1年早めた
				基礎作業学演習(基礎作業分析業分析等分析等分析等分析等分析等分析等分析。 ままま 一 I 運動学 フェーション では は できまる できまる できまる できまる できまる は できまる は できまる できまる は できまる できまる できまる は できまる できまる は できまる は できまる は できまる は できまる できまる は は できまる は いっぱん は は いっぱん は いっぱん は いっぱん は は いっぱん は は は は いっぱん は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	專	准教授	ハヤカク ヒロコ 早川 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)演習(応用作業分析)演習(応用作業療法を主ナー I 運動域リン学環語には国際では、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 に	H27年1月教員審査済み
専	講師	イシバ・シ 7 <sup>‡</sup> Ł ト 石橋 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 習臨床実習I(理学療法) 臨床実習I(理学療法) 卒業研究I 卒業研究I リハビリテーション管 理学	専	講師	イシバシ 7キヒト 石橋 晃仁	平成27年4月	神経障 神経障 実理学療法 造床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習のので デオーションで 管理と療法と を業業に で学療法 を業業に で学療法 を業業に で学療法 を発表させ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)
専	講師	ヒムロ <i>ノプ</i> アキ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
兼任	講師	ヒムロ <i>ノブア</i> キ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習						変更なし
				解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖演習 塩床実習 I (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 本業研究 I 卒業研究 I	専	講師	キヨタ ナオエ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖学 生理学實習 [理学療法] 臨床実習Ⅱ (理学療法) 臨床実習Ⅲ 理学療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	H27年1月教員審查済み
				解剖学演習(骨·筋)体表解剖学演習(骨·筋)体表解剖学療法評価学(運動器系)断学(基礎編)臨床判實習 I (理学療法)臨床実習 II (理学療法)臨床実習 II (理学療法)本業研究 II	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習 (骨・筋) 解語等 解語等 解語等 解語等 解語等 解語等 (基礎 ) 解語等 (基礎 ) 第 (基礎 ) 第 (理学療 法) (選定 ) 第 (理学療 法) (基定 ) 第 (基定 ) 第 ) 第 ) 第 (基定 ) 第 ) 第 ) 第 (基定 ) 第 ) 第 ) 第 ) 第 ) 第 ) 第 ) 第 )	H28年1月教員審査済み(28)

_								ı	Γ	
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習取(理学療法) 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	養肢装具学 ※ 養肢装具学演習 ※ 臨床実習 I (理学療 法) 協床実習 Ⅲ (理学療 法) 臨床実習 Ⅲ (理学療 法) 本業研究 I 卒業研究 Ⅱ	H28年1月教員審査済み (28)
専	助教	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習						変更なし
専	助教	‡ハラ ユリコ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動学演器系) 運動学演療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーションン学演 習						変更なし
專	助教	ュ゚が゜とロシ 合田 央志	平成27年4月	作業療法機論演習 運動学療法評価学演習 作業療法運動学演習 作業療法所語の一次 作業療経・統許価学演習 (神業療経・統計の一等 (中本報習工(作業療法) 臨床実習工(作業療法) 臨床実置工(作業療法)						変更なし
專	助教	‡3モト ケンタ 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習						変更なし
兼任	講師	+3モト ケンタ 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習						変更なし
兼担	教授	オオクボ イワオ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼担	教授	か トオル 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼担)
兼任	教授	モンマ マサコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼担	教授	//ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼担	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼担	准教授	モリグチ マイ 森口 眞衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼担	准教授	ヤマダ゛ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サラシナ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	<sup>シミス゛</sup> カオル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学						変更なし
兼任	講師	サカグチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経 系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	シブ・加 ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動 器系) 理学療法評価学演習 (運動器系)						変更なし

* IT	-# AT	ヤマグ・チ カス・ユキ		74 FT TL 77 = A						***
兼任	講師	山口 和之	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	アダチ アッヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	ハタハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア 論						変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション						変更なし
兼任	講師	スギモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	オカダ シゲヒコ 岡田しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーショ ン学演習						変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	ハマモト タツヤ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習(基 礎作業分析) 基礎作業学演習(応 用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習(中 枢神経系)						変更なし
兼任	講師	スギモト /リコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法学						変更なし
兼任	講師	イケダ タモツ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)						変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	カナイ マサハル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤジマ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬 信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	がピ゙ ミチコ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	ナカバヤシ ヒデカズ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学						変更なし
兼任	講師	イシタ゚ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論						変更なし
兼任	講師	チバ タカシ 千葉 卓	平成27年4月	法学						変更なし
兼任	講師	オギワラ ユウコ 荻原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動健康とスポーツ	兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動健康とスポーツ	変更なし
			,	健康とスポーツ	兼任	講師	橋本めぐみ	平成28年4月	生活と運動 健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	年齢の間違い
兼任	講師	カカダ クニヒコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コント・ウ フミェ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学						変更なし

兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法学 演習 スポーツ理学療法学						変更なし
兼任	講師	tス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤシタ ムネハル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサ/ ユカコ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅ゙カ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法学						変更なし
兼任	講師	ハタ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	tl/r キヨシ 森谷 絜	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロタダ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼担	教授	/ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシェ 今井 由惠	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 髙雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い
兼任	講師	セ゛フ・フ゛ルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デイビッド フレナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 荘太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	払 チャンキン 金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ マサノブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論(行動分析)						変更なし
兼任	講師	イケダ ヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論(治療理論)	兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	サンミヤ コウタ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	tリタ カオル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法						変更なし
兼任	講師	クノ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウ^イ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	3コグシ カズトシ 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	スズキ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤモト シケ・ノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	サカイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			代謝・免疫系障害理学療法学	兼任	講師	かけ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害理 学療法学	担当教員追加(兼任)
				運動器障害理学療法学			後任未定			科目開設時までに変更書提出予定 (28)
(注)	. #	請書の様式第3	号(その2の)	1)に準じて作成してくた	ごさい。					

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 おお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の漢年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ <mark>図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ( ) 書き等のみを記入してください。

#### (2) 専任教員数等

#### (2) 一① 専任教員数

	設置時の計画 現在(報告書提出時)の状況								現在	E(報告書提出時)	の完成年	度時の計画	画	
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	4人	2人	13人	6人	2人	5人	4人	17人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)					,	[ 人0 ]	[ 1人 ]	[3人]	[人0]	[4人]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
    - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ② 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
    ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当 <sup>-</sup>	予定科目	後任補充	状況		就任	<b>壬辞退</b> (	未就	任)の理由		
				なし												
L																
				合計	(A)					往	<b>後任補充状況</b>	の集計	(B)	)		
	京	え 任る	を辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	十数(c	)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			0		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	Α	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	兄		辞任等の	)理由		
			選択	作業療法学概論演	1						
			選択	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	1						
			選択	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	1						
			選択	日常生活適応学(ADL)	1						
1	教授	澤田 雄二	選択	臨床実習 I (作業療法)	1						
			選択	臨床実習Ⅱ(作業療法)	1						
		選択		臨床実習Ⅲ(作業療法)	1						
			必修	卒業研究 I	1						
			必修	卒業研究Ⅱ	1						
		合計	(C)		後任補充状況の集計(D)						
	辞任	した教員数	担当科目数の合語	計 (a) + (b) + (c)	①の合計数	(a)	②の合計	十数 (b)	③の合計	十数 (c)	)
_			必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0	科目
			選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0	科目
	1	人	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0	科目	

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### 上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A	) + (C)	後任補充状況の集計 (B) + (D)								
辞任等した教員	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数 (a)	②の合計	十数 (b)	③の合計数 (c)			
		必修	2	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0	科目
	,	選択	7	科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0	科目
1		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0	科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任に伴い、科目担当者を専任教員(教授、 学生への周知については、学科集会を開き、	(教員審査)	を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくださし

## 6 留意事項等に対する履行状況等

			<u> </u>	+=/-+-·
区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
	け法程要欄付、載科いれ、可 ごを 科分生指 を選れ、	留意事項	(27) 学生が所属専攻ごとでできるようでは、 できるようでは、 できるようでは、 できるようでは、 できるようでは、 できるようでは、 できると、 できると、 できると、 できると、 できると、 できない。 できないい。 できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	
設 置 時 (27年4月)	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを力が活用するとともに、グランド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める	
	・完成年度前に、職員のとは、職年を自己を専任の高をを関すが、定年をのといる。またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またので	留意事項	(27)経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。	
	・さつ科では、一次のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	留意事項	(27)32科目中、兼任教員の4科目については、無任教員の28科目については教員の1月の36年である。専任教目は、同日教皇での1月の36年で、1科目は、東在1科のである。本書を1科のでは、同じのでは、1月の36年で、1科目についでは、1月の36年ので、1科目についでは、1月の36年ので、1月の36年ので、1月の36年ので、1月の36年ので、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1月の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日については、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しては、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1月の36年の1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1日に対しは、1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年の1月の36年	

1	伊牌医療労却 ロスビロ		(20) 東武20年1月12日本共年年	<b>尚</b> 上草焦
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)	保保 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	改善意見	に入学定員の6倍の志願者数を めざし、学生募集戦略の抜本 的な見直しを行い、早期に決	は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。  〇検討事項 1学生の確保に関する事項 ①学生確保に関する基本方
	保テいる専較定えめ織つの場合によるが、踏努員にとの地域のようをに教想に、構るのが、というでは、というでは、いてになるが、、いてにに、ならいでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないではないでは、できないでは、できないでは、できないではないでは、できないでは、できないでは、できないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	改善意見		(28) (28) (28) (28) (28) (29) (28) (29) (29) (20) (20) (20) (20) (20) (21) (21) (22) (23) (23) (24) (25) (26) (26) (27) (28) (28) (29) (29) (20) (20) (20) (21) (21) (21) (22) (23) (24) (24) (25) (26) (26) (27) (27) (28) (28) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29)

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u>) <u>書き</u>で付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

#### 7 その他全般的事項

#### <保健医療学部 リハビリテーション学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況,今後の見通しなど
<ul><li>① 入学者選抜方法の変更</li><li>・一般入学試験</li><li>試験</li></ul>	成28年度入試(平成29年4月入学生)からA0入学 を実施予定。 施方法等については、検討中である。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
  - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

#### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況
  - FD委員会

27年度は看護学科、リハビリテーション学科の2学科で実施 28年度以降は看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施予定

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
  - ·第1回FD委員会 平成27年 5月14日 (教員5人、事務職員1人)
  - ·第2回FD委員会 平成27年 6月 4日(教員5人、事務職員1人)
  - ·第3回FD委員会 平成27年11月27日 (教員4人、事務職員1人)
  - ・委員会の開催を補うものとして、主にメールで委員同士の情報・意見交換を頻繁に図った。
- c 委員会の審議事項等
  - ・前年度の活動報告・決算報告
  - 今年度の活動と予算
  - ・学生による授業評価アンケートの実施手順の確認と実習用の内容検討
  - ・授業評価アンケート集計会社の見積と業者の選定
  - ・教員研修会と後援会について
  - ・次年度の活動と予算(案)
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - ①教員研修会
      - ・教員研修会 1 を研究倫理委員会と合同で開催した。講師は札幌医科大学石埜正穂先生。倫理研修修了 証明書を発行した。
      - ・教員研修会2では研究に重要な統計技法に関する講演を聴き、配布論文の統計部分の妥当性について グループワークを行った。講師は日本医療大学村松宰先生。
    - ②授業評価アンケート講義・演習用と実技用の実施
      - ・各授業の最終回に科目担当者がアンケートを配付し、学生が回収ボックスに投函。
      - ・授業評価アンケートは集計会社に依頼し、全科目集計、郡ごとの集計、個別科目の集計結果を算出

- ・全科目集計と群ごとの集計結果は学内に掲示(前期分は9月、後期分は翌年度の4月)
- ・個別科目の集計は科目担当者に返却
- b 実施方法
  - ・上記の実施内容に沿って適切に実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - ・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。
  - ・研修後のアンケート結果では、時期、内容等について肯定的評価が多かった。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・授業評価アンケートの結果は全般に高く、学科、学年によらず、平均は概ね4.00ポイント以上であった。 科目担当者が次年度以降の講義に活かすよう働きかけた。次年度からは、科目担当者は授業評価アンケートの集計結果、自由記述の結果を受け、どのように授業改善を図ったかをフィードバックする仕組みを設ける。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・学期毎に実施 前期7~8月 後期1~2月
  - b 教員や学生への公開状況, 方法等
    - ・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分:9月 後期分:翌年度の4月
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

#### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対 有該子科、リバビリケーション子科ともに人間尊重の程志と壹かな人間任を有する人間力を育て、社会の二一人に対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。 看護学科は平成27年度が開設2年目、リハビリテーション学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改

善策の実施を進めていく方針である。

- ② 自己点検·評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ・自己点検・評価報告書(平成26年度、27年度)を平成28年度上期に公表予定。
  - b 公表方法
    - ・自己点検・評価報告書を本学HPに公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成31年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、準備中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお,「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

0 1	設置計画履行状況報告書							
а	ホームページに公表の有無	(	有		無	)		
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(	28年	7月		)		

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人日本医療大学

- (2) 大 学 名 日本医療大学
- (3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号 (〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() )書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

#### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) <b>対 馬 徳 昭</b> <sub>(平成5年4月)</sub>		
学長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学 部 長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 <b>公 美</b> (平成27年4月)	(27) 設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

#### (5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の		設 置 時		備	考	
名称 (学位)	修業年限	入学定員	VĦ	75		
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 学士(リハビリテーション学)	4年	40人	_	160人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	ν <del>ιιι</del> '''
				40人 —	40人 人		
Α	入学定員	( – )	( - )	( - )	( - )		
-				77.1	100		
	志願者数			77人 —	100人 - ( - )		
1				76人 —	95人 -		
	受験者数	( - ) ( - )		( - ) ( - )	( - ) ( - )	1. 01倍	
	合格者数	 ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	58人 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	62人 - ( - )( - ) [ - ] [ - ]		
E	3 入学者数	( ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	( ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	38人 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	43人 - ( - )( - ) [ - ] [ - ]		
7	、学定員超過率 B/A	-	-	0.95倍	1.07倍		

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - · 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	5年度	平成2	6年度	平成 2	7年度	平成2	8 年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75
		[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
	1 年次	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(1人)	(-)		
		-	-	-	-	38人	-	44人	-		
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
	2 年次			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
				-	-	-	-	37人	-		
						[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
	3 年次					(-)	(-)	(-)	(-)		
						-	-	-	-		
								[ - ]	[ - ]		
	4 年次							(-)	(-)		
								-	-		
Ī		[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]		
	計	( -	- )	( -	- )	( -	- )	( 1	人 )		
		-	-	-	-	38	人	81	人		

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退草	学者数(内訳)	)	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数									
対象年度	77 132(2)		退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	1 600 THE	の割合 (a/b)									
			平成25年度	- 人	- 人	-										
平成25年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人	-	- %									
			平成27年度	- 人	- 人	-	/0									
			平成28年度	- 人	- 人	-										
	- 人		平成26年度	- 人	- 人	-										
平成26年度 入学者		٠	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-	- %				
			平成28年度	- 人	- 人	-										
平成27年度	20 I	30 J	20 1	20 1	38 Y	38 人	38 Y	20 1	20 1	20 1	0 人	平成27年度	0 人	0 人	1	0 %
入学者	30 X	0 X	平成28年度	0 人	0 人	-	0 70									
平成28年度 入学者	43 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	-	0 %									
合 計	81 人	0 人					0 %									

- (注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してくださし
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

## 2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

## (1) 授業科目表

仮理	科目	1- 110-21-2-1	配当	単位数 専任教員等の配置											
田立と原字 1歳 1		授業科目の名称	・目の名称 【覧 芸 】				助手	_							
上物学	心理	理学	1前	1			Ì			Ì				兼1	
野田学   1表   1	発達	達心理学	1後		1									兼1	
<ul> <li>生活科学 1段 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</li></ul>	生物	物学	1前		2									兼1	
一次	物理	理学	1後 1前		2									兼1	担当教員の都合により,配当学期を変更
生活と運動 1段 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生活	活科学	1後		1									兼1	
型成とメポーツ   1級   1   1   2   3   3   3   3   3   3   3   3   3	環境	境科学	1前		1									兼1	
特別字   1後   1	生活	活と運動	1後	1										<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
新科学	健原	康とスポーツ	1後		1									<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
情報科学減習	統計	計学	1後		1									兼1	
本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語	情幸	報科学	1前	1										兼1	
基本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	情報	報科学演習	1前		1							1			
本の	人間	間発達学	2後	2										兼1	
世	基倫理	理学	1前	1										兼1	
新学 1後 1 1	生命	命倫理	1後	1										兼1	
1	哲学	学	1後		1									兼1	
刊	教論	理学	1前		1									兼1	
A   文化人類学	育宗教	教と思想	2前		1									兼1	
文化人類学   1後	人間	間関係論	1後		1									兼1	
音楽   2後   1		化人類学	1後		1									兼1	
法字	目社	会学	1後		1									兼1	
Name	音楽	楽	2後		1									兼1	
北海道史	法当	学	1前		1									兼1	
ボランティア活動   2後   1	教育	育学	1前		1									兼1	
日本語表現	北洲	海道史	1前		1									兼1	
英語 I     1前     1       英語 II     1後     1       英語 II     2前     1       英語 II     2前     1       英語 IV     3前     1       中国語     1後     1       韓国語     2前     1       解剖学 演習 (骨・筋)     1前     2       中門     基     27年1月教員審查済 教員追加 (28) [担当 向井康詞 (議師) 平成28年1月教員審查済 判定可 平成28年1月教員審查済 判定可 平成28年1月教員審查済 判定可 平成28年1月教員審查済 判定可 平成28年1月教員審查済 判定可 27年1月教員審查済 判定可 27年1月教員審查済 判定可 27年1月教員審查済 1 1 1 1 27年1月教員審查済 1 27年1月教員本資産 1 27年1月教育の都会 1 27年1月教育の第二日本会 1 27年1月本会 1	ボラ	ランティア活動	2後		1									兼1	
英語II     1後     1       英語IV     3前     1       中国語     1後     1       韓国語     2前     1       解剖学演習(骨・筋)     1前     4       解剖学演習(骨・筋)     1前     4       本     1前     2       中門     解剖学演習(神経)     1後     1       基本     1前     1     本1       株     1前     1     本1       大田学演習     16     1     1       本生理学     1前     4     2       日本     1     1     27年1月教員審查済       本     226     1     1       本     1     1     27年1月教員審查済       本     2     1     1       本     2     1     1       本     2     1     1       本     1     2     1       本     1     2     2       本     1     2     2       本     1     3     2       本     1     2     2       本     1     3     2       本     1     2     2       本     1     3     2       本     1     2     2       本     1     <	日本	本語表現	1前	1										兼1	
英語III     2前     1       英語IV     3前     1       中国語     1後     1       韓国語     2前     1       解剖学     1前     4       解剖学演習 (骨・筋)     1後     1       基     本     27年1月教員審查済教員追加(28) 「担当 向井珠詞(講師)」平成28年1月教員審查済判定可       基     本     数員道加(28) 「担当 向井珠詞(講師)」平成28年1月教員審查済判定可       基     機能解剖学     1後     1       基     生理学     1前     4       基     生理学演習     2前     1       本     1     1       運動学     2前     4       運動学演習     26     1       日     1     3       市理学演習     2後     1       日     1     3       担当教員の都合により、配当学期を変別を変別の都合により、配当学期を変別と変別を変別を変別を変別の都合により、配当学期を変別と変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変別を変	英訓	語 I	1前	1										兼1	
英語IV     3前     1       中国語     1後     1       韓国語     2前     1       解剖学演習(育・筋)     1前     4       解剖学演習(神経)     1後     1       基体表解剖学     1前     1       機能解剖学     1後     1       女生理学     1前     4       有     生理学演習     2前       運動学演習     2前     4       日     1     3       事業的学演習     2前     4       日     1     3       事業的学演習     2液     1       日     1     3       事業的学演習     2液     1       日     1     3       事業的学演習     2液     1       日     1     3       事業的學演習     2次     1       日     1     3       東國學演習     2前     4       日     1     3       東國學演習     2次     1       日     1     3       東國學演習     2次     1       日     1     3       東國學演習     2次     1       日     1     3       東國學院会     1     1       日     1     3       東國學院会     1       日	英訓	語Ⅱ	1後	1										兼1	
中国語 韓国語     1後     1       解剖学 專     1前     4       解剖学演習 (骨・筋)     1前     2       事     1前     2       解剖学演習 (神経)     1後     1       基 体表解剖学     1前     1       機能解剖学     1後     1       技生理学     1前     4       专理学演習     2前     1       本理学演習     2前     1       本理學演習     2前     1       本理學演習     2前     1       本理學演習     2前     1       本理學演習     2前     1       本期學演演習     2後     1       財務     1       1     1       本期學演演習     2後     1       1     1       1     3       本1     1       1     3       本1     1       本2     1       1     1       3     1       4     1       3     1       4     1       3     1       4     1       4     1       4     1       5     1       6     1       7     1       8     1       9     1 </th <th>英訓</th> <th>語Ⅲ</th> <th>2前</th> <th></th> <th>1</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>兼1</th> <th></th>	英訓	語Ⅲ	2前		1									兼1	
韓国語   2前   1	英評	語IV	3前		1									兼1	
専門     1前 4       解剖学演習 (骨・筋)     1前 2       財務 (計算)     1前 2       財務 (計算)     1 2       大田学演習     1 2       日 27年1月教員審査済       日 27年1月教員審査済       日 27年1月教員審査済       日 27年1月教員審査済       日 3 27年1月教員審査済       日 3 27年1月教員審査済       日 3 27年1月教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変更ない。	中国	国語	1後		1									兼1	
専     1前     2       月門     「押当 向井康河 (講師)     平成28年1月教員審査済 教員追加 (28)       「担当 向井康河 (講師)     平成28年1月教員審査済 判定可       基     体表解剖学     1前     1     数員追加 (28)     [担当 向井康河 (講師)       「世期 日本 中華 (課題)     「投票 (課題)     1     1     27年1月教員審査済 判定可       大生理学     1前     4     4     第1       本理学演習     2前     1     1     1       本期学演習     2前     4     1       事職学演習     2後     1     1       有理学     1後     1     3       日 病理学     1後     1     3       日 病理学     1後     1     1       16     1     1     3       日 病理学     1     1     1       1     1     3     1       1     1     1     1       1     1     3     1       1     1     1     1       1     1     3     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       2     1     1     1	韓国	国語	2前		1									兼1	
専門     教員追加 (28)       経     1       基     体表解剖学     1前     1       機能解剖学     1後     1     1       教生理学     1前     4     1       育生理学演習     2前     1     1       科     運動学演習     26     1       再     1     1     2       有     1     1     2       財産     1     1     2       財産     1     2     1       財産     1     1     1       財産     1     1     1       財産     1     1     1       財産     1     1     1       財産	解音	剖学	1前	4										兼1	
門   解剖学演習 (神経)	解音 <b>専</b>	剖学演習 (骨・筋)	1前	2						4	- 2				27年1月教員審査済 教員追加 (28)
「新部学演習 (神経)															□担当 向井康詞(講師)
基     体表解剖学     1前     1     兼1     教員追加 (28) [担当 向井康詞 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 27年1月教員審査済 判定可 27年1月教員審査済       教     生理学     1前     4     第1     27年1月教員審査済       育     生理学演習     2前     1     1     27年1月教員審査済       科     運動学     2前     4     1       運動学演習     2後     1     1     3       目     病理学     1後     1前     3       日     1後     1前     1     3       日     16     16     1     1     1		剖学演習(神経)	1後	1											E TIMES   177 SARCH BUIL TIME II
機能解剖学     1後     1       教     生理学       育     生理学演習     2前     1       日     運動学     2前     4       運動学演習     2後     1       日     1後     1       新理学     1後     1       16     1     3       16     1       16     1       16     1       16     1       16     1       16     1       16     1       16     1       17     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1 <t< th=""><th></th><th></th><th>1前</th><th>1</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>1</th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>			1前	1							1				
機能解剖学     1後     1       女生理学     1前     4       育生理学演習     2前     1       科     運動学     2前       運動学演習     2後     1       日     1後     1       病理学     1後     1       1後     1       16     1       16     1       17     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18     1       18	礎														世ヨ   円井塚門 (講明) 平成28年1月教員審査済   判定可
音     生理学演習     2前     1     1     1     27年1月教員審査済       科     運動学     2前     4     1     3       目     病理学     2後     1     1     3       排     1後     1前     3     1       排     1後     1前     3     1       排     1億     2     1     1     1	機自	能解剖学	1後	1							1				27年1月教員審査済
理動学     2前     4       運動学演習     2後     1       目     病理学     1後       1後     1前       1後     3       兼1     担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変更ない。	教生	理学	1前	4										兼1	
料     運動学演習     2後     1     1     3       目     病理学     1後     1冊     3     担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変します。	育 生理	理学演習	2前	1				1			1				27年1月教員審査済
運動学演習     2後     1     1     3       病理学     1後     1前     3     担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変担当教員の都合により、配当学期を変更ない。	科	動学	2前	4				1							
加理子   1後   <sup>2</sup>   担当教員の都合により、配当学期を変	運動	動学演習		1				1				3			
	日病	理学		2										兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更 担当教員の都合により、配当学期を変更 (28)
	栄養	養学			2									兼1	
臨床心理学 2前 2 兼1	臨月	床心理学	2前		2									兼1	
カウンセリング論 2後 2 兼1	カリ	ウンセリング論	2後		2									兼1	
専     教育心理学     2前     2     兼1	専教育	育心理学	2前		2									兼1	
<b>門</b>   内科学   2前   2	門内科	科学	2前	2										兼1	

	1		ı		1 1		ı	i i		i i	l	:
基	整形外科学	2前	2								兼1	
	神経内科学	2前	2								兼1	
礎	精神医学	2後	2								兼1	
教	小児科学	2前	1								兼1	
育	障害学特論	2後		2							兼3	
	リハビリテーション論	1後	2			1						
科	チーム医療論	3前	1			1					兼4	
	保健医療論	2後		1							兼1	
	社会福祉学	1後		1							兼1	
	健康政策論	4後		1							兼3	
	理学療法概論	1前		1							兼1	
	理学療法概論演習	1後		1							兼1	
	理学療法セミナー I	1後		1				1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1				H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1				H27年3月教員審査中
	理学療法評価学 (運動器系)	2通		1				1			兼1	教員未定のため変更書提出予定
												教員追加 (28)   □ 担当   向井康詞 (講師)
												【担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		兼1	
	理学療法評価学 (神経系)	2通		1							兼2	
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2							兼2	秋日本内 o k 7
	臨床判断学(基礎編)	2後		1				1				教員未定のため変更書提出予定 <mark>教員追加(28)</mark>
												「担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床判断学 (応用編)	3後		1				1				数員未定のため変更書提出予定 数員追加 (28)
												教員追加 (28) 「担当 向井康詞 (講師) 【平成28年1月教員審査済 判定可
	運動療法学	2前		1		1						□ 平成28年1月教員審査済 判定可
専	運動療法学演習	2後		1		•		1				
門	運動器障害理学療法学	3前		1				1				教員未定のため変更書提出予定
	運動器障害理学療法学演習	3前		1							兼1	<b>収員不足のため及業音旋山丁足</b>
教	神経障害理学療法学	3前						1			W.I	
育				1				1				
科	神経障害理学療法学演習	3前		1				1				
1-7	呼吸·循環器障害理学療法学	3前		1		1					264 260	#
目	代謝・免疫系障害理学療法学	3前		1							#1 #2	教員追加
	発達障害理学療法学	3後		1				1				
	高齢期障害理学療法学	3後		1		1						
	物理療法学	3前		1		1					兼1	
	物理療法学演習	3前		1		1					兼1	数早十つのたみが軍事相山圣ウ
	義肢装具学	3前		1		1		1				教員未定のため変更書提出予定 教員追加 (28)
												□ 担当 西山徹 (講師) □ 平成28年1月教員審査済 判定可
	At Holds H. W. Marie	0.24										教員未定のため変更書提出予定 <mark>教員追加(28</mark> )
	義肢装具学演習	3前		1		1		1				「担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	日常生活活動基礎学	3前		1				1				H27年3月教員審査中
	神経筋促通治療学	3前		1		1						
	高次脳機能障害学	3後		1							兼1	
	徒手関節治療学	3後		1							兼1	
	スポーツ理学療法学	3後		1							兼1	
	地域理学療法学	3前		1		1			1		兼2	
	生活環境学	3後		1		1						
	臨床実習 I (理学療法)	2後		1		3		1 2 4	1			27年1月教員審査済
												教員追加 (28) ┌ 担当 向井康詞 (講師)
												□ 担当 向井康詞(講師) □ 平成28年1月教員審査済 判定可 □ 担当 西山徹(講師)
	Ect ct 70 p (*m 24 ** 4 * 1 * )	244		_		_		0.0-				平成28年1月教員審査済 判定可
	臨床実習Ⅱ (理学療法)	3後		3		3		2 3 5	2			27年1月教員審査済 教員追加 (28)
												「担当 向井康詞(講師) 平成28年2月教員審査済 判定可
												一担当 西山徹 (講師) 平成28年2月教員審査済 判定可
1	1		•	l	1	•	l	ı l			I	C

専	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前		16	3		2 3 5	2	27年1月教員審查済 教員追加 (28) 「担当 向井康詞 (講師) L 平成28年1月教員審查済 判定可 「担当 西山徹 (講師)
守									平成28年1月教員審査済 判定可
門	リハビリテーション管理学	4後	1			1	1		
l	呼吸リハビリテーション特論	3後		1					兼1
教	応急処置法	3前		1					兼1
育	軟部組織治療学	3前		1					兼1
科	ウィメンズヘルスケア論	3前		1					兼2
	災害リハビリテーション	3前		1					兼2
目	地域リハビリテーション学	2前	1			1			27年1月教員審査済
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1	兼2
	研究法	3前	1		1				
	卒業研究 I	3後	1		6	<b>1</b> 2	2 3 5		27年1月教員審查済 教員追加 (28) 「担当 向井康詞 (講師) 【平成28年1月教員審查済 判定可 「担当 西山徹 (講師) 平成28年1月教員審查済 判定可
	卒業研究Ⅱ	4通	2		6	± 2	<del>2</del> <del>3</del> 5		27年1月教員審査済 教員追加 (28) 「担当 向井康訶 (講師) 「平成28年1月教員審査済 判定可 「担当 西山徹 (講師) 「平成28年1月教員審査済 判定可

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。 (今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

    ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

#### (2) 授業科目数

	設	置時	の計	画	変	更	状	況	備考
必	修	選択	自由	計	必修	選択	自 由	計	μ Ή
	32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
					[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
   ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし	

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0
設置時の計画の授業科目数の計	<del>-</del>	0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

# 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内			容						備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			Ē	t		日本福祉看護診療放射 線学院と共用:収容定
校		校舎	き敷 地	ģ		29, 831 m <sup>2</sup> 8, 886 m <sup>2</sup>		20, 945	)m <sup>*</sup>		0	m²		29, 8	31 m²	四限坐十・るし
权		運動	場用地			13, 710㎡		(	)m²				13, 710m²		10 m²	(借用地)運動場 20 年、13,710㎡
地		小	計	•		43, 541 m² <del>22, 596 m²</del>	0ı <del>20, 945ı</del>		)m <sup>*</sup> <del>om</del> *	0 m²		m 43, 541 m		41 m²	駐車場、1年更新、 3,058㎡	
等		そ	の他			3, 058m²		(	)m²		0	m <sup>®</sup>		3, 0	58 m²	(28)平成28年4月診療 放射線学科開設に伴い 面積の変更あり
J		合	計			46, 599 m² <del>25, 654 m²</del>		20, 945			0	m <sup>‡</sup>		46, 5	99 m²	
					専	用	共	用	<u>=</u>	共用する 学校等の	専用		計			日本福祉看護診療放射線学院と共 用:収容定員400人 面積基準:1,480㎡
(2) 校			舎			16, 060. 03㎡ <del>11, 175. 86㎡</del>		3, 179. 52	)m <sup>°</sup> <del>?m°</del>	2	0 <del>, 463. 58</del>			6, 060. <del>6, 818.</del>		総面積の減少については、体育館
						5, 623. 13㎡) 4 <del>, 273. 46㎡)</del> —		(8, 630. 68 <mark>m</mark> ( <del>8, 386. 92m</del>			06. 22m² <del>58. 58m²</del>			060. 03 818. 93		及び講堂の面積を除いたためであ り、建築等設置計画に変更なし)
				講	義室	演	室 室	実験実	習室	情報処理学習加		施設	語学等	学習施設	殳	
(3) 教		室	等		1:	1室	11室		10室			1室 /	情報処	理室と	共用	
					'	'=	11±		10±		助職員0.	人)	(補助)	職員0人	()	
(4) 専	任教	双曼研究	室			新設学部	等の名称				室 ————————————————————————————————————		数			
		12 1 - 1 1 1			保健医	療学部 リハ	ビリテーシ	ション学科		ī				15 室		1 (0.7) [m] + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
	<b>±</b>	新設学部	01年	3	图 書	学術	雑誌			視聴覚	管資料	機械・器	具	標	本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変 更あり
(5)	木	の名和		〔う	ち外国書〕		<b>小国書</b> 〕	電子ジャ								(28)図書、学術雑誌、
					40. 50073	<b>冊</b>	種 	7,7			点		点		点	,
図書		健医療			40 (237) 789[170])	2, 011 (		8 (8	J	6	'	960		30		
• 記	リハヒ	゛リテーショ	ソ字科	<del>-(8,</del>	<mark>345[163])</mark> 30 [157] )	<del>(2, 006</del>	<del>[646])</del>	(8 [	8])	(61)		(961) <del>(960)</del>		(32) <del>(30)</del>		
備		計		9, 14	0 (237)	2, 011 (	653)	8 (8	)	6	1	960		30		
		ĒΙ			789[170]) <del>30 [157]</del>	(2, 158)————————————————————————————————————		(8 [	8])	(6	1)	(960)		(30)		
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座	座席 数		収	納可	能	冊 数		
(0)			<b>1</b> 0			206. 6	1 m²			50席				14, 6	40∰	
(7) 体		育	館		面	 			体育館以	外のスポ	ポーツ施	設の概要				
					1	556.	1 m²	1	7	1	ート1 i	ī				  (27)経費の見積り及び
		経費・	×		分	開設年度	完成年		分		前年度 94千円	開設年原		完成年		資金計画の一部変更
(8) 経費の	) E	積り			研究費等	300千円	300=		購入費	<del>10, 1</del> 4	<del>02千円</del> 20千円	3, 000∃ 3, 383∃	000千円 3,00			-
積り及維持方	び				名 費 等	3,000千円	3, 000=		購入費 	33, 4	38千円	<del>2, 000 -</del>	一円	2, 000		
の 概	要	学生 1	ı		1 年次	第2年次		3年次		第4年次 第5年次 第6年次						
	-	納付			1,300千円 維持方法の	1,300円	-14	1,300千円	1, 3	800千円		千円			千円	
		子生	附刊並.	いっていれ	唯付刀法の	似安										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

# 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本	医療	大学	<u> </u>									備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年次		人		倍						
保健医療学部				人										
看護学科	4		80	-		320	学士 (看護学)	1. 07	平成26年度	北海道 区真:	札幌 栄434			
リハビリテーション学科														
理学療法学専攻	4		40	-		160	学士 (リʌビリテーション学)	1. 01	平成27年度	北海道 野西6 <sup>-</sup>		市恵み 7番3号		
リハビリテーション学科														
作業療法学専攻	4		40	-		160	学士 (リハビリテーション学)	0. 51	平成27年度	北海道 野西6 <sup>-</sup>		市恵み 7番3号		
診療放射線学科	4		50	-		200	学士	1. 04	平成28年度	北海道 区真:	札幌 栄434			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

# 5 教員組織の状況

# <保健医療学部 リハビリテーション学科>

# (1) 担当教員表

			設置	時の計	画				変	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授 (学	傳野	隆一	平成27年4月	保健医療論チーム医療論	兼担	教授 (学 長)	傳野	隆一	平成27年4月	チーム医療論	
	長)				<b>,一厶</b> 医療酬	兼担	教授	島本	和明	平成28年4月	保健医療論	担当教員変更(兼担)(28)
専	教授	/ヌ/ 乾	<b>ギル</b> 公美	平成27年4月	生理動療装 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養	専	教授 (学科 長)	<i>仅</i> / 乾	キシハル 公美	平成27年4月	生理動療美學 養財療美學 養財療養學 養財療養學 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。
専	教授	幼心 高橋		平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸、得實習單學療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 在床業研究Ⅰ 本業研究Ⅱ							変更なし
専	教授	サトウ 佐藤		平成27年4月	リハロッション論 リハロック リカック リカック リカック リカック リカック と は アイ・カー リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック							変更なし
專	教授	<sup>ツオ*</sup> タ 坪田		平成27年4月	作業療法概論 作業療法標準 身体障害不治療学(運 身体障害系) 身体等療法等系法 動義股装具作業療法学 義肢装具作業療法学 護臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 卒業研究 I							変更なし
						専	教授	坪田	貞子	平成27年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
					作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専	教授	八田	達夫	平成28年4月	作業療法概論演習	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
車	教授	澤田	±# —	平成27年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(AD L)	専	准教授	大堀	具視	平成28年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
<b>ਜ</b>	**1×	<i>γ</i> ¥ III	<b>孫</b> 芘 ——	TM21+4月	正) 臨床実習 I(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	専	教授	岸上	博俊	平成29年4月	日常生活適応学(ADL) 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 等、研究 I 卒業研究 I	H28年3月変更書提出(審査中) (28)

			1	1						1
専	教授	ハッタ タツオ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 作業療法ときナー II 作業療法治療学特論(シーティグ) 就労支援作業療法学 卒業研究 I 卒業研究 I						変更なし
専	准教授	材材 片笔 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体体業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	專	准教授	<b>オオホリ</b> トモミ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナー団 身体を 事務法セミナー環学 (中枢神経障害、動 行分析と 一位の で学生活適応学 (中の大学でででである。 で発表法) を主義の で発表法) を主義の で発表法) を主義の での での での での での での での での での での での での での	(27)採用予定年月を1年早めた
				基礎作業学演習(基礎作業分析業分析等分類では、 生業を受けるでは、 生業を受けるでは、 生業を受けるでするです。 生業を受けるでするでするです。 生業を受けるでするでするです。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	専	准教授	ハヤカク ヒロコ 早川 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析) 機作業分析)演習(応用作業分析) 作業療法では、 運動域リン学境論 臨床実習習 (作業療法) 臨床実習習 (作業療法) 臨床実研究 I 卒業研究 I	H27年1月教員審査済み
専	講師	イシバ・シ 7 <sup>‡</sup> Ł ト 石橋 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 習臨床実習I(理学療法) 臨床実習I(理学療法) 卒業研究I 卒業研究I リハビリテーション管 理学	専	講師	イシバシ 7キヒト 石橋 晃仁	平成27年4月	神経障 神経障 実理学療法法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習のので で業業に で業業に 「一一」 管電を表表 で業ま で学療法 を業ま で学療法 を業ま で学療法 を変素 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学ので で で で で で で で で で で で で で	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)
専	講師	ヒムロ <i>ノプ</i> アキ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
兼任	講師	ヒムロ <i>ノブア</i> キ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習						変更なし
				解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖演習 塩床実習 I (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 本業研究 I 卒業研究 I	専	講師	キヨタ ナオエ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖学 生理学實習 [理学療法] 臨床実習Ⅱ (理学療法) 臨床実習Ⅲ 理学療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	H27年1月教員審查済み
				解剖学演習(骨·筋)体表解剖学演習(骨·筋)体表解剖学療法評価学(運動器系)断学(基礎編)臨床判實習 I (理学療法)臨床実習 II (理学療法)臨床実習 II (理学療法)本業研究 II	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習 (骨・筋) 解	H28年1月教員審査済み(28)

								ı	Γ	
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習取(理学療法) 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	養肢装具学 ※ 養肢装具学演習 ※ 臨床実習 I (理学療 法) 協床実習 Ⅲ (理学療 法) 臨床実習 Ⅲ (理学療 法) 本業研究 I 卒業研究 Ⅱ	H28年1月教員審査済み (28)
専	助教	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習						変更なし
専	助教	‡ハラ ユリコ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動学演器系) 運動学演療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーションン学演 習						変更なし
專	助教	ュ゚が゜とロシ 合田 央志	平成27年4月	作業療法機論演習 運動学療法評価学演習 作業療法運動学演習 作業療法所語の一次 作業療経・統許価学演習 (神業療経・統計の一等 (中本報習工(作業療法) 臨床実習工(作業療法) 臨床実置工(作業療法)						変更なし
專	助教	‡3モト ケンタ 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習						変更なし
兼任	講師	+3モト ケンタ 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習						変更なし
兼担	教授	オオクボ イワオ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼担	教授	か トオル 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼担)
兼任	教授	モンマ マサコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼担	教授	//ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼担	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼担	准教授	モリグチ マイ 森口 眞衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼担	准教授	ヤマダ゛ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サラシナ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	<sup>シミス゛</sup> カオル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学						変更なし
兼任	講師	サカグチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経 系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	シブ・加 ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動 器系) 理学療法評価学演習 (運動器系)						変更なし

# I	=# +~	ヤマグ・チ カス・ユキ	T #00 = 1 =	(th. ris. TL. //r = ^							***
兼任	講師	山口 和之	平成30年4月	健康政策論							変更なし
兼任	講師	アダチ アツヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論							変更なし
兼任	講師	ハタハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア 論							変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション							変更なし
兼任	講師	スギモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論							変更なし
兼任	講師	オカダ シゲヒコ 岡田しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーショ ン学演習							変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法学							変更なし
兼任	講師	ハマモト タツヤ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法学							変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	小形	和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習(基 礎作業分析) 基礎作業学演習(応 用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習(中 枢神経系)							変更なし
兼任	講師	スギモト /リコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法学							変更なし
兼任	講師	イケダ タモツ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)							変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)							変更なし
兼任	講師	カナイ マサハル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)							変更なし
兼任	講師	ヤジマ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)							変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬	信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	がピ ミチコ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想							変更なし
兼任	講師	thn * t7 * hx * 中林 秀和	平成27年4月	生物学							変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学							変更なし
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論							変更なし
兼任	講師	チバ タカシ 千葉 卓	平成27年4月	法学							変更なし
兼任	講師	オギワラ ユウコ 荻原 裕子	平成27年4月	英語Ⅰ							変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師	吉田	昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ	変更なし
					兼任	講師	橋本め	ぐみ	平成28年4月	生活と運動健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	外が 3シノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学							変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	フジノ 藤野		平成27年4月	病理学	年齢の間違い
兼任	講師	オカダ クニヒコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学							変更なし
兼任	講師	コンド・ウ フミェ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学							変更なし
		オカタ・ クニヒコ 岡部 晋彦			_		かがまり	¥6			

兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法学 演習 スポーツ理学療法学						変更なし
兼任	講師	tス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤシタ ムネハル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサ/ ユカコ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅ゙カ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法学						変更なし
兼任	講師	ハタ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	tily キヨシ 森谷 絜	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロタダ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼担	教授	/ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシェ 今井 由惠	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 髙雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い
兼任	講師	セ゛フ・フ゛ルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デイビッド フレナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 荘太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	払 チャンキン 金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ マサノブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論(行動分析)						変更なし
兼任	講師	イケダ ヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論(治療理論)	兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	サンミヤ コウタ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	tリタ カオル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法						変更なし
兼任	講師	クノ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウ^イ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	3コグシ カズトシ 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	スズキ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤモト シケ・ノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	サカイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			代謝・免疫系障害理学療法学	兼任	講師	かけ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害理 学療法学	担当教員追加(兼任)
				運動器障害理学療法学			後任未定			科目開設時までに変更書提出予定 (28)
(注)	. #	請書の様式第3	号(その2の)	1)に準じて作成してくた	ごさい。					

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 おお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の漢年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ <mark>図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ( ) 書き等のみを記入してください。

#### (2) 専任教員数等

### (2) 一① 専任教員数

	認	置時の計	画		現在	(報告書提	出時)の	状況	設置時の計画 現在(報告書提出時)の状況								
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)			
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	4人	2人	13人	6人	2人	5人	4人	17人			
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)					,	[ 人0 ]	[ 1人 ]	[3人]	[人0]	[4人]			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
    - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ② 年齢構成

年齢構成										
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記(B))の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数								
65	3	4								
歳	名	名								

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
    ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

1	番号	号 ]	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	後任補充状況 就任辞退			£辞退	(未就	任)の理由		
					なし												
		4															
F		-															
ŀ		4									-						
F					合計	(A)					往	<b>後任補充状況</b>	の集計	(B)			
		就	任を	き辞	退した教員数	担当科目数の合語	it (a) +	(p) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	十数(c	)
ſ						必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				^		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
1				0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	号 罪	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況		辞任等の	理由		
	Ī			選択	作業療法学概論演	(1)						
				選択	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	1						
				選択	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	1						
				選択	日常生活適応学(ADL)	1						
1		教授	澤田 雄二	選択	臨床実習 I (作業療法)	1						
				選択	臨床実習Ⅱ(作業療法)	1						
				選択	臨床実習Ⅲ(作業療法)	1						
				必修	卒業研究 I	1						
				必修	卒業研究Ⅱ	1						
			合計	(C)				後任補充状況	?の集計(D)	)		
		辞任	した教員数	担当科目数の合語	計 (a) + (b) + (c)	①の合計	<b>数</b> (a)	) ②の合計数 (b) ③の合計			十数(c)	)
				必修	2 科目	必修	2 科	1 必修	0 科目	必修	0	科目
				選択	7 科目	選択	7 科	選択	0 科目	選択	0	科目
		1	, ,	自由	0 科目	自由	0 科	自自由	0 科目	自由	0	科目
				計	9 科目	計	9 科	目計	0 科目	計	0	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### 上記(3)-①・(3)-② の合計

Γ	合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)						
	辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
			必修	2	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
			選択	7	科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	1	<b>X</b>	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
			計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任に伴い、科目担当者を専任教員(教授、 学生への周知については、学科集会を開き、	准教授) で補てん手続 一斉に周知を行った。	(教員審査)	を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくださし

# 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
	・るに等件でけ「し目る不学能めと適う目をに導専事つの及はら設たとか整生性、に切、の整対を育と、」修科い趣」付う生乱るがす択ご・た丁こ育と、」修科い趣」付う生乱るがす択ご・た丁ことを、所べきさの択でなりににじを。所べきさの択でないではににする。所べきさの択でなる。所べきさの択でない。では、記者、大学を選出を選れ、大学を選出を選れ、大学を選出をといる。というには、大学を選出を選出を選れ、大学を選出を表している。	留意事項	(27)学生が所属専攻ごとに履事攻ごとは関連をきるは、	
設 置 時 (27年4月)	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グランド使用の際のキャンパス間をすっては学生送迎用のでは学生送迎用のである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める	
	・完成年のというでは、、職ののでは、、職ののでは、、職ののでは、、、職ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	留意事項	(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。	
	・教員の補充を ・教和たて ・教和たて ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・教育の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	留意事項	(27)32科目中、兼任教員の4科目については、既に配配科別である。専任教員の28科目について、17科目は、1月のる。東任教員である。1科目は、同じて1月のである。1科目は、同じて1月のである。4科目にで東西でので、14科目にでは、14代目のである。4科目にでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、14代目のでは、	

F	10 ht = + 24 to		(00) T-+001 = 101 = 1	******
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)	保健医療主体とのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	改善意見	に入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。 〇メンバー [本部長]理事長 [副本部長]学長 [看護学科担当]学科長	は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。 〇検計事項 1学生の確保に関する事項 ①学生確保に関する基本方
	保守いる専校定えめ織つににえ合うをに教書のでは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教高規値とのは、職教制に、本るのは、、職教制にと、のは、、職教制にと、のは、、職教制にと、のは、、職教制にと、のは、、職教制にと、のは、、職教制にと、のは、、職教制に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	改善意見		(28) ラシ延で定しいに員つ用又りく上つ人るにり位教教画学特外的(65) 員が探員として、教な、・育員的の学特外的(65) 員が探過として、教なが、・育員的の学特外的(65) 員が探迎という。 はこれででは、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変には、大変に

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(<mark>認可時又は届出時)</mark>に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()</u>書きで付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部 リハビリテーション学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況,今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更	成28年度入試(平成29年4月入学生)からA0入学
・一般入学試験	を実施予定。
試験	施方法等については、検討中である。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
  - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

#### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況
  - FD委員会

27年度は看護学科、リハビリテーション学科の2学科で実施 28年度以降は看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施予定

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
  - ·第1回FD委員会 平成27年 5月14日 (教員5人、事務職員1人)
  - ·第2回FD委員会 平成27年 6月 4日(教員5人、事務職員1人)
  - ·第3回FD委員会 平成27年11月27日 (教員4人、事務職員1人)
  - ・委員会の開催を補うものとして、主にメールで委員同士の情報・意見交換を頻繁に図った。
- c 委員会の審議事項等
  - ・前年度の活動報告・決算報告
  - ・今年度の活動と予算
  - ・学生による授業評価アンケートの実施手順の確認と実習用の内容検討
  - ・授業評価アンケート集計会社の見積と業者の選定
  - ・教員研修会と後援会について
  - ・次年度の活動と予算(案)
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - ①教員研修会
      - ・教員研修会 1 を研究倫理委員会と合同で開催した。講師は札幌医科大学石埜正穂先生。倫理研修修了 証明書を発行した。
      - ・教員研修会2では研究に重要な統計技法に関する講演を聴き、配布論文の統計部分の妥当性について グループワークを行った。講師は日本医療大学村松宰先生。
    - ②授業評価アンケート講義・演習用と実技用の実施
      - ・各授業の最終回に科目担当者がアンケートを配付し、学生が回収ボックスに投函。
      - ・授業評価アンケートは集計会社に依頼し、全科目集計、郡ごとの集計、個別科目の集計結果を算出

- ・全科目集計と群ごとの集計結果は学内に掲示(前期分は9月、後期分は翌年度の4月)
- ・個別科目の集計は科目担当者に返却
- b 実施方法
  - ・上記の実施内容に沿って適切に実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - ・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。
  - ・研修後のアンケート結果では、時期、内容等について肯定的評価が多かった。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・授業評価アンケートの結果は全般に高く、学科、学年によらず、平均は概ね4.00ポイント以上であった。 科目担当者が次年度以降の講義に活かすよう働きかけた。次年度からは、科目担当者は授業評価アンケートの集計結果、自由記述の結果を受け、どのように授業改善を図ったかをフィードバックする仕組みを設ける。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・学期毎に実施 前期7~8月 後期1~2月
  - b 教員や学生への公開状況, 方法等
    - ・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分:9月 後期分:翌年度の4月
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対 有該子科、リバビリケーション子科ともに人間尊重の程志と壹かな人間任を有する人間力を育て、社会の二一人に対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。 看護学科は平成27年度が開設2年目、リハビリテーション学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改

善策の実施を進めていく方針である。

- ② 自己点検·評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ・自己点検・評価報告書(平成26年度、27年度)を平成28年度上期に公表予定。
  - b 公表方法
    - ・自己点検・評価報告書を本学HPに公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成31年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、準備中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお,「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

#### (4) 情報公表に関する事項

0 1	設置計画履行状況報告書							
а	ホームページに公表の有無	(	有		無	)		
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(	28年	7月		)		

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人日本医療大学

- (2) 大 学 名 日本医療大学
- (3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号 (〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() )書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) <b>対 馬 徳 昭</b> <sub>(平成5年4月)</sub>		
学長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学 部 長	(デンノ リュウイチ) <b>傳 野 隆 一</b> (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 <b>公 美</b> (平成27年4月)	(27) 設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

### (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

### (5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の		設 置 時	の計画		備	考
名称 (学位)	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	VĦ	75
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 学士(リハビリテーション学)	4年	40人	_	160人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期		超過率	VHI 72
				40人 -	40人 -		
Α	入学定員	( - )	( - )	( - )	( - )		
-							
	志願者数			22人 —	( - ) ( - )		
-				22人 —	44人 -		
	受験者数	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]		( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	0. 51倍	
	合格者数	( - ) ( - ) [ - ]	( ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	24人 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	39人 - ( - )( - ) [ - ] [ - ]		
ŀ	3 入学者数	( ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	( ( - ) ( - ) [ - ] [ - ]	15人 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	26人 - ( - )( - ) [ - ] [ - ]		
7	、学定員超過率 B/A	-	-	0.37倍	0.65倍		

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - · 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

## (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	5年度	平成2	6年度	平成 2	7 年度	平成2	8 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
1 年次	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	-	_	-	-	15人	-	26人			
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
2 年次	/		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
			-	-	-	-	15人	-		
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
3 年次	/				(-)	(-)	(-)	(-)		
					-	-	-	-		
							[ - ]	[ - ]		
4 年次	/						(-)	(-)		
							-	-		
	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]		
計	( .	- )	( -	- )	( -	- )	( -	- )		
		_	-	-	15	人	41	人		

- (注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退草	学者数(内訳)	)	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度	77 132(2)		退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	1 60	の割合 (a/b)
			平成25年度	- 人	- 人	-	
平成25年度	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人	-	- %
入学者			平成27年度	- 人	- 人	-	,,
			平成28年度	- 人	- 人	-	
			平成26年度	- 人	- 人	-	
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-	- %
			平成28年度	- 人	- 人	-	
平成27年度	15 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	-	0 %
入学者	10 X	0 X	平成28年度	0 人	0 人	-	0 70
平成28年度 入学者	26 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	-	0 %
合 計	41 人	0 人					0 %

- (注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してくださし
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

# 2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

# (1) 授業科目表

科目		配当		単位数	Į		専任教	<b>教員等</b> (	の配置			
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	助教	助手		備考
	心理学	1前	1								兼1	
	発達心理学	1後		1							兼1	
	生物学	1前		2							兼1	
	物理学	<del>1後</del> 1前		2							兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	生活科学	1後		1							兼1	
	環境科学	1前		1							兼1	
	生活と運動	1後	1								<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
	健康とスポーツ	1後		1							<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
	統計学	1後		1							兼1	
	情報科学	1前	1								兼1	
	情報科学演習	1前		1					1			
	人間発達学	2後	2								兼1	
基	倫理学	1前	1								兼1	
礎	生命倫理	1後	1								兼1	
	哲学	1後		1							兼1	
教	論理学	1前		1							兼1	
育	宗教と思想	2前		1							兼1	
科	人間関係論	1後		1							兼1	
件	文化人類学	1後		1							兼1	
目	社会学	1後		1							兼1	
	音楽	2後		1							兼1	
	法学	1前		1							兼1	
	教育学	1前		1							兼1	
	北海道史	1前		1							兼1	
	ボランティア活動	2後		1							兼1	
	日本語表現	1前	1								兼1	
	英語 I	1前	1								兼1	
	英語Ⅱ	1後	1								兼1	
	英語Ⅲ	2前		1							兼1	
	英語IV	3前		1							兼1	
	中国語	1後		1							兼1	
	韓国語	2前		1							兼1	
	解剖学	1前	4								兼1	
専	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					1 2				27年1月教員審査済 教員追加 (28)
												「担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
門	解剖学演習(神経)	1後	1								兼1	E CONTRACTOR DE LA CONT
基	体表解剖学	1前	1					1				教員追加(28)
礎												【担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
	機能解剖学	1後	1					1				27年1月教員審査済
教	生理学	1前	4								兼1	
育	生理学演習	2前	1			1		1				27年1月教員審査済
科	運動学	2前	4			1						
	運動学演習	2後	1			1			3			
目	病理学	<del>1後</del> <del>1前</del> 1後	2								兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更 担当教員の都合により、配当学期を変更(28)
	栄養学	1前		2							兼1	
	臨床心理学	2前		2							兼1	
	カウンセリング論	2後		2							兼1	
専	教育心理学	2前		2							兼1	
門	内科学	2前	2								兼1	

	1	l ., l	1	ı	ı	ı	ı	ı	ı	ı	I	: :
基	整形外科学	2前	2								兼1	
	神経内科学	2前	2								兼1	
礎	精神医学	2後	2								兼1	
教	小児科学	2前	1								兼1	
育	障害学特論	2後		2							兼3	
Ħ	リハビリテーション論	1後	2			1						
科	チーム医療論	3前	1			1					兼4	
	保健医療論	2後		1							兼1	
	社会福祉学	1後		1							兼1	
	健康政策論	4後		1							兼3	
	作業療法概論	1前		1		1						
	作業療法概論演習	1後		1		1			1			教員変更 (28)
												「担当 八田達夫(教授)   平成28年3月教員審査中
	基礎作業学演習 (基礎作業分析)	1前		1				1				教員追加 (28)
	基礎作業学演習 (応用作業分析)	1後		1				1			<del>兼1</del> 兼2	教員追加 (28)
	作業療法セミナーI	1後		1			1					27年1月教員審査済
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1						
	作業療法セミナーⅢ	3前		1			1					
	作業療法評価学	2前		1		1						
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前		1					1		兼1	
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		1			1		兼1	教員変更(28)
												<ul><li>□ 担当 坪田貞子(教授)</li><li>□ 平成28年3月教員審査中</li></ul>
	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	2後		2		1 0	1		2		兼1	教員変更 (28)
												<ul><li>□ 担当 大堀具視(准教授)</li><li>□ 平成28年3月教員審査中</li></ul>
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後		2					1		兼1	
	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2			1					
	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)	3前		1		1					兼1	
	精神障害作業治療学	3通		2							兼1	
	発達障害作業治療学	3通		2		1						
	高齢期障害作業治療学	3通		2							兼1	
	高次脳機能障害作業治療学	3前		1							兼1	
	義肢装具作業療法学	3前		1		1					兼1	
	義肢装具作業療法学演習	3前		1		1						
	日常生活適応学 (ADL)	3前		2		1						教員変更 (28)
												「担当 岸上博俊 (教授) 平成28年3月教員審査中
	日常生活適応学 (動作分析)	3後		2			1					
車	福祉用具学	3後		1		1						
-	就労支援作業療法学	3後		1		1						
門	作業療法治療学特論(治療理論)	3後		1							兼1	
教	作業療法治療学特論(シーティング)	3後		1		1						
育	作業療法治療学特論(行動分析)	3後		1							兼1	
1	地域作業療法学	3前		1							兼1	
科	福祉住環境論	3後		1			0 1					27年1月教員審査済
目	臨床実習 I (作業療法)	2後		2		3	0 1		1			27年1月教員審査済
												教員変更 (28)  ↑ 担当   岸上博俊 (  教授)
	臨床実習Ⅱ (作業療法)	3後		3		3	<b>1</b> 2		2			<mark>平成28年3月教員審査中</mark> 27年1月教員審査済 (27)
		0100					1 2		2			教員変更 (28) 「担当 岸上博俊 (教授)
												平成28年3月教員審査中
	臨床実習Ⅲ(作業療法)	4前		16		3	1 2		2			27年1月教員審査済 教員変更 (28)
												<ul><li>□ 担当 岸上博俊(教授)</li><li>□ 平成28年3月教員審査中</li></ul>
	リハビリテーション管理学	4後	1				1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後		1							兼1	
	応急処置法	3前		1							兼1	
	軟部組織治療学	3前		1							兼1	
	ウィメンズヘルスケア論	3前		1							兼2	
	災害リハビリテーション	3前		1							兼2	
	地域リハビリテーション学	2前	1	*			1					97年1日 新昌寧本次
	地域リハビリテーション学演習	2前					1		1		兼2	27年1月教員審査済
			1			1			1		JR4	
1	研究法	3前	1	]	]	1	l	l	l	]	I	į

Z	卒業研究 I	3後	1	6	± 2	£ 5		27年1月教員審査済 教員追加(28) 「担当 向井康詞(講師) 「平成28年1月教員審査済 「担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 教員変更(28) 「担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中	判定可
Σ	卒業研究Ⅱ	4通	2	6	± 2	오 왕		27年1月教員審査済 教員迫加(28) 「担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 一担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 教員変更(28) 「担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中	判定可

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上 で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは 赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
    - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合
  - 「中は教員体所等設置計画変更書」の番目ア定年万等を「備考」に記入してくたさい。(予複番目を受けるには、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。) ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

ſ		設				変	更	状	況	備考
	必	修	選択	自由	計	必修	選択	自 由	計	VHI 45
Ī		32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
   ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし	

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	_	0
設置時の計画の授業科目数の計	<del>-</del>	0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

# 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分					内				1	容			備考		
(1)		区	分			専	用	共	用		共用する 学校等の			計		日本福祉看護診療放射 線学院と共用:収容定		
校		校舎	煎 地	<u>t</u>			29, 831 m <sup>2</sup> 8 <del>, 886 m</del> 2		<del>20, 9</del> 4	0m² <del>5m²</del>		0	m	29	, 831 m	四限生十・60		
TX -		運動	場用地				13, 710m²			0m²		0	mi	13	, 710m	+ 13, / 10111		
地		小	計				43, 541 m² <del>22, 596 m²</del>		<del>20, 9</del> 4			0	m	43	, 541 m	駐車場、1年更新、 3,058㎡		
等		そ	の他				3, 058 m²			0m²	01		)m <sup>2</sup> 3, 058n			(28) 平成28年4月診療 放射線学科開設に伴い		
þ		合	計				46, 599㎡ <del>25, 654㎡</del>		20, 94						0m²		, 599 m	
						専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用			計		日本福祉看護診療放射線学院と共 用:収容定員400人 面積基準:1,480㎡		
(2) 校			舎				16, 060. 03㎡ <del>11, 175. 86㎡</del>		<del>3, 179. 5</del>	0m² <del>2m²</del>			0mឺ 16, 060. 03m 8mឺ 16, 818. 96m			はに伴い面積の変更あり(校舎の ・総面積の減少については、体育館		
							, 623. 13m²) <del>, 273. 46m²)</del>		(8, 630, 68r (8, 386, 92r	n <sup>†</sup> ) (		(1, 806. 22m²) -(4, 158. 58m²)		(16, 060. <del>(16, 818.</del>		及び講堂の面積を除いたためであ り、建築等設置計画に変更なし) -		
				講	義	室	演	室 室	実験!	実習室	情報	処理学習	施設	語学学習的	<b>色設</b>			
(3) 教		室	等			113	<b>*</b>	11室			10室			情報処理室	と共用			
						112	±	112				助職員0	人)	(補助職員(	)人)			
(4) 専	仟教	(員研究	室				新設学部	部等の名称				室		数				
	07	., , , , , ,			保	健医	療学部 リハ	ビリテー	ション学科					15	室	(03) FI # W/F # #		
	±	<b>斤設学</b> 音	n <del>/</del>	3	₹ :	書	学術	雑誌			一 視聴的	党資料	機械・器	.具 標	本	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変 更あり		
(5)	韦	の名称		〔う	ち外国	書〕	〔うちタ	<b>小国書</b> 〕	電子ジ	ャーナル						(28)図書、学術雑誌、		
-							₩	₹.	7,7	<b>小国書</b> 〕		点		点	点	支定的 9		
図書		健医療゛リテーショ			40 (23 <b>789</b> [17		2, 011 (	[653] [695])	8 (8			61	960 (961)		2)			
: 設	,,,,_	// /-	, , 1-1	<del>-(8,</del>	345[16	53])	<del>-(2, 006</del>	[646])		[8] )		61)	(960)	(3	0)-	=		
備		計			0 [23] 789[1]		2, 011 ( (2, 158		8 (8			61	960 (960)		0			
					<del>30 [1</del> 5		<del>-(1, 966</del>			[8] )	(6	1			<del>*</del> *-			
(6) 図		書	館		面		積  206.6	1 m²	阅 見	座席数	50席	収	柳 미	能 冊 :	剱 . 640冊	_		
					面		  積			休育館以		ピーツ施	設の概要	14	, 0401111			
(7) 体		育	館					1 m²			テニスコ					-		
			Z	ξ.	556.1n 分 開設年度			完成年	度区			前年度	開設年	度 完成	年度	(27)経費の見積り及び 資金計画の一部変更		
(8)			教員 1	人当り	研究領	費等	300千円	300	千円 図記	講入費		94千円 <del>02千円</del>	3, 000∃	F円 3,0	00千円			
経費の 積り及		積り	共 同	研 3	究 費	等	3,000千円	3, 000	千円 設備	講講入費	29, 5	20千円 38千円	3, 383= 2, 000=		00千円	1		
維持方の概	i法	学生 1		第	1 年次 第 2 年次			9	第3年次	第 4	年次	·	5 年次	第6年	次			
- 1000		り 納付			1, 300-	千円	1, 300 <del>7</del>	) 千円 1,300千円 1,300千円 千円 千円					千円	1				
		学生紀	納付金	以外の約	維持方	法の概	既要											

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - 「(5)図書・設備」については,上段に完成年度の予定数値を,下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

# 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本	医療	大学	<u> </u>									備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年次		人		倍						
保健医療学部				人										
看護学科	4		80	-		320	学士 (看護学)	1. 07	平成26年度	北海道 区真:	札幌 栄434			
リハビリテーション学科														
理学療法学専攻	4		40	-		160	学士 (リハピリテーション学)	1. 01	平成27年度	北海道 野西6 <sup>-</sup>		市恵み 7番3号		
リハビリテーション学科														
作業療法学専攻	4		40	-		160	学士 (リハビリテーション学)	0. 51	平成27年度	北海道 野西6 <sup>-</sup>		市恵み 7番3号		
診療放射線学科	4		50	-		200	学士	1. 04	平成28年度	北海道 区真:	札幌 栄434			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

# 5 教員組織の状況

# <保健医療学部 リハビリテーション学科>

# (1) 担当教員表

			設置	時の計	画				変	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授 (学	傳野	隆一	平成27年4月	保健医療論チーム医療論	兼担	教授 (学 長)	傳野	隆一	平成27年4月	チーム医療論	
	長)				<b>,一厶</b> 医療酬	兼担	教授	島本	和明	平成28年4月	保健医療論	担当教員変更(兼担)(28)
専	教授	/ヌ/ 乾	<b>ギル</b> 公美	平成27年4月	生理動療装 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養	専	教授 (学科 長)	<i>仅</i> / 乾	キシハル 公美	平成27年4月	生理動療美學 養財療美學 養財療養學 養財療養學 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養養 養	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。
専	教授	幼心 高橋		平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸、得實習單學療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 在床業研究Ⅰ 本業研究Ⅱ							変更なし
専	教授	サトウ 佐藤		平成27年4月	リハロッション論 リハロック リカック リカック リカック リカック リカック と は アイ・カー リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック リカック							変更なし
專	教授	<sup>ツオ*</sup> タ 坪田		平成27年4月	作業療法概論 作業療法標準 身体障害不治療学(運 身体障害系) 身体等療法等系法 動義股装具作業療法学 義肢装具作業療法学 護臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 卒業研究 I							変更なし
						専	教授	坪田	貞子	平成27年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
					作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専	教授	八田	達夫	平成28年4月	作業療法概論演習	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
車	教授	澤田	±# —	平成27年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活適応学(AD L)	専	准教授	大堀	具視	平成28年4月	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	H28年3月変更書提出(審査中)(28)
<b>ਜ</b>	**1×	<i>γ</i> ¥ III	<b>孫</b> 芘 ——	TM21+4月	正) 臨床実習 I(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 臨床実習 II(作業療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	専	教授	岸上	博俊	平成29年4月	日常生活適応学(ADL) 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 等、研究 I 卒業研究 I	H28年3月変更書提出(審査中) (28)

			1	1						1
専	教授	ハッタ タツオ 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習 I (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 臨床実習 II (作業療法) 作業療法ときナー II 作業療法治療学特論(シーティグ) 就労支援作業療法学 卒業研究 I 卒業研究 I						変更なし
専	准教授	材材 片笔 大堀 具視	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体体業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	專	准教授	<b>オオホリ</b> トモミ 大堀 具視	平成28年4月	作業療法セミナー団 身体を 事務法セミナー環学 (中枢神経障害、動 行分析と 一位の で学生活適応学 (中の大学でででである。 で発表法) を主義の で発表法) を主義の で発表法) を主義の でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでである。 でのでは でのでのである。 でのでのである。 でのでは でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのである。 でのでのでは でのでのである。 でのでのでは でのでのでのである。 でのでのでのできまる。 でのでのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのでのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできまる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのででのできる。 でのででででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのでででできる。 でのででででででででで。 でのでででででででででででででででででででででで	(27)採用予定年月を1年早めた
				基礎作業学演習(基礎作業分析業分析等分類では、 生業を受けるでは、 生業を受けるでは、 生業を受けるでするです。 生業を受けるでするでするです。 生業を受けるでするでするです。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	専	准教授	ハヤカク ヒロコ 早川 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)演習(応用作業分析)演習(応用作業療法を主ナー I 運動域リン学環語には国際では、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 には、1 に	H27年1月教員審査済み
専	講師	イシバ・シ 7 <sup>‡</sup> Ł ト 石橋 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 習臨床実習I(理学療法) 臨床実習I(理学療法) 卒業研究I 卒業研究I リハビリテーション管 理学	専	講師	イシバシ 7キヒト 石橋 晃仁	平成27年4月	神経障 神経障 実理学療法法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習『I 理学療法 臨床実習のので で業業に で業業に 「一一」 管電を表表 で業ま で学療法 を業ま で学療法 を業ま で学療法 を変素 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学療法 で学ので で で で で で で で で で で で で で	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提出 (審査中)
専	講師	ヒムロ <i>ノプ</i> アキ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
兼任	講師	ヒムロ <i>ノブア</i> キ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習						変更なし
				解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖演習 塩床実習 I (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 臨床実習 II (理学療法) 本業研究 I 卒業研究 I	専	講師	キヨタ ナオエ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習 (骨・筋) 機能解剖学 生理学實習 [理学療法] 臨床実習Ⅱ (理学療法) 臨床実習Ⅲ 理学療法) 卒業研究 I 卒業研究 I	H27年1月教員審查済み
				解剖学演習(骨·筋)体表解剖学演習(骨·筋)体表解剖学療法評価学(運動器系)断学(基礎編)臨床判實習 I (理学療法)臨床実習 II (理学療法)臨床実習 II (理学療法)本業研究 II	専	講師	向井 康詞	平成28年4月	解剖学演習 (骨・筋) 解	H28年1月教員審査済み(28)

								ı	Γ	
				義肢装具学 ※ 義肢装具学演習 ※ 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習取(理学療法) 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専	講師	西山 徹	平成28年4月	養肢装具学 ※ 養肢装具学演習 ※ 臨床実習 I (理学療 法) 協床実習 Ⅲ (理学療 法) 臨床実習 Ⅲ (理学療 法) 本業研究 I 卒業研究 Ⅱ	H28年1月教員審査済み (28)
専	助教	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シンカイヤ フカシ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習						変更なし
専	助教	‡ハラ ユリコ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動学演器系) 運動学演療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーションン学演 習						変更なし
專	助教	ュ゚が゜とロシ 合田 央志	平成27年4月	作業療法機論演習 運動学療法評価学演習 作業療法運動学演習 作業療法所語の一次 作業療経・統許価学演習 (神業療経・統計の一等 (中本報習工(作業療法) 臨床実習工(作業療法) 臨床実置工(作業療法)						変更なし
專	助教	‡3モト ケンタ 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習						変更なし
兼任	講師	+3モト ケンタ 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習						変更なし
兼担	教授	オオクボ イワオ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼担	教授	か トオル 賀来 亨	平成28年4月	小児科学	担当教員変更(兼担)
兼任	教授	モンマ マサコ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼担	教授	//ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学						変更なし
兼担	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学						変更なし
兼担	准教授	モリグチ マイ 森口 眞衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理						変更なし
兼担	准教授	ヤマダ゛ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語						変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論						変更なし
兼任	講師	サラシナ ナホ 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	<sup>シミス゛</sup> カオル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学						変更なし
兼任	講師	サカグチ トモヤス 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経 系) 理学療法評価学演習 (神経系)						変更なし
兼任	講師	シブ・加 ヨシヒコ 渋川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動 器系) 理学療法評価学演習 (運動器系)						変更なし

* IT	-# AT	ヤマグ・チ カス・ユキ		74 FT TL 77 = A						***
兼任	講師	山口 和之	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	アダチ アッヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論						変更なし
兼任	講師	ハタハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア 論						変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション						変更なし
兼任	講師	スギモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論						変更なし
兼任	講師	オカダ シゲヒコ 岡田しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーショ ン学演習						変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	ハマモト タツヤ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法学						変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学	兼任	講師	小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学 基礎作業学演習(基 礎作業分析) 基礎作業学演習(応 用作業分析)	担当科目追加(兼任)(28)
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習(中 枢神経系)						変更なし
兼任	講師	スギモト /リコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法学						変更なし
兼任	講師	イケダ タモツ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)						変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	カナイ マサハル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤジマ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学	兼任	講師	一瀬 信敏	平成28年4月	生理学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	がピ゙ ミチコ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	ナカバヤシ ヒデカズ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学						変更なし
兼任	講師	イシタ゚ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論						変更なし
兼任	講師	チバ タカシ 千葉 卓	平成27年4月	法学						変更なし
兼任	講師	オギワラ ユウコ 荻原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動健康とスポーツ	兼任	講師	吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動健康とスポーツ	変更なし
			,	健康とスポーツ	兼任	講師	橋本めぐみ	平成28年4月	生活と運動 健康とスポーツ	担当教員追加(兼任)(28)
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	年齢の間違い
兼任	講師	カカダ クニヒコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コント・ウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学						変更なし

兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法学 演習 スポーツ理学療法学						変更なし
兼任	講師	tス シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤシタ ムネハル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサ/ ユカコ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オニヅ゙カ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法学						変更なし
兼任	講師	ハタ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	tily キヨシ 森谷 絜	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロタダ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼担	教授	/ヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシェ 今井 由惠	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オオウチ タカオ 大内 髙雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い
兼任	講師	セ゛フ・フ゛ルックリン	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	デイビッド フレナー	平成27年4月	英語Ⅱ	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 荘太	平成28年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	払 チャンキン 金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジタ マサノブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論(行動分析)						変更なし
兼任	講師	イケダ ヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学						変更なし
兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論(治療理論)	兼任	講師	サカウエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	サンミヤ コウタ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)						変更なし
兼任	講師	tリタ カオル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法						変更なし
兼任	講師	クノ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※						変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウ^イ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論						変更なし
兼任	講師	3コグシ カズトシ 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学	兼任	講師	佐々木浩一	平成28年4月	整形外科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師	スズキ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学	兼任	講師	齊藤 正樹	平成28年4月	神経内科学	担当教員変更(兼任)(28)
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤモト シケ・ノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	サカイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師			代謝・免疫系障害理学療法学	兼任	講師	かけ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害理 学療法学	担当教員追加(兼任)
				運動器障害理学療法学			後任未定			科目開設時までに変更書提出予定 (28)
(注)	. #	請書の様式第3	号(その2の)	1)に準じて作成してくた	ごさい。					

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 おお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の漢年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ <mark>図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 ( ) 書き等のみを記入してください。

#### (2) 専任教員数等

### (2) 一① 専任教員数

	認	置時の計	画		現在	(報告書提	出時)の	状況		現在	E(報告書提出時)	の完成年	度時の計画	画
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授 准教授 講 師 助 教 計 (A)				教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	4人	2人	13人	6人	2人	5人	4人	17人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)					,	[ 人0 ]	[ 1人 ]	[3人]	[人0]	[4人]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
    - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ② 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
    ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当 <sup>-</sup>	予定科目	後任補充	状況		就任	£辞退	(未就	任)の理由		
				なし						_						
				A =1							/- I I-b I Is see	- 45-1	( - \			
				合計	(A)					12	<b>後任補充状況</b>	の集計	(B)			
	京	えん ないしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう はいし	を辞	退した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(p) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数(b)		③の合計	ŀ数(cː	)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	聙	战 位	専任教	員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	·定科目	後任補充	状況			辞任	等の	理由		
					選択	作業療法	学概論演	(1)								
					選択	作業療法評価学派	(条電関・骨) 智道	1								
					選択	作業療法評価学演	習(神経・筋力系)	1								
					選択	日常生活適応	学 (ADL)	1								
1	-	教授	澤田	雄二	選択	臨床実習 I	(作業療法)	1								
					選択	臨床実習Ⅱ	(作業療法)	1								
					選択	臨床実習Ⅱ	(作業療法)	1								
					必修	卒業	研究 I	1								
					必修	卒業	研究 Ⅱ	1								
				合計	(C)					後	任補充状況	の集計	(D)	)		
		辞任	した教員数	Ţ	担当科目数の合語	it (a) + (	b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c)	
					必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		1		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

### 上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A	) + (C)				後	任補	#充状況の集	計 (B)	) +	(D)		
辞任等した教	員数	担当科目数の合意	計 (a) +	(p) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	数 (c)	)
		必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
1	<b>X</b>	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任に伴い、科目担当者を専任教員(教授、 学生への周知については、学科集会を開き、	准教授) で補てん手続 一斉に周知を行った。	(教員審査)	を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくださし

# 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
	・るに等件でけ「し目る不学能めと適う目をに導専専つの及はら設たとか整生性、に切、の整対を目履教「法と科のではら設たとか整生性、に切、の整対を目でない、「修科い趣」付う生乱るがす択ご・た丁ことが混あ生修選攻修してうるにがらにじを・展さきの択でな。を選上等はら記で与を選上率と、しているに、では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	留意事項	(27) 学生が所属を強いできる。 (27) 学生が所属を強いている。 (27) 学生が所属を強いている。 (28) 27年度とに関する。 (28) 27年度と同様の対応を行った。	00 关心 回
設 置 時 (27年4月)	・運動場が別地にあるることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生のはもとより、計動等に配慮すること。	留意事項	(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グランド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める	
	・完成年度のる退費を高い、定年数を自然を関係をののでは、、定年数を担定をののでは、定年数のでは、定年数のでは、定年数のでは、では、できない。できない。できない。できない。できない。できない。できない。できない。	留意事項	(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。	
	・教員の補充で表示では、表示では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別では、特別	留意事項	(27)32科目中、集任教員の4科目については教員の28科目につい事任教員の28科目につい事任教員の28科目に対象。17科目は、1月の教会を1科目には、兼信には、兼信には、兼信には、兼信には、兼信には、兼信には、東京を4科目にのかる。4科目にのいては、18開業を4科目にによりの14日には、開講変更いで、5科目にのいては、1月の1科に対し、開講変更に対しては、1月の1科に対し、1月の1科に対し、1月の1科に対し、14年での1科に対し、14年では、1月では対象。(28)未配置は、1月の1科に対し、14年である。(28)未配置に対し、1月の1科に対し、14年では、1月では対象。(28)未配置は、1月では対象。(28)未配置は、1月では対象。第二段に対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは対象をは	

	保健医療ョウス (保健医療 学学科がの、7 で、1 で、7 で、7 で、7 で、7 で、7 で、8 で、8 で、9	改善意見	(28) 平成28年1月12日の執集た 役員会には「学生議 では、「学・決議」では、「学・決議」では、「学・決議」では、「学・決議」では、「学・決議」では、「学・会議」では、「学・会議」では、「学・会議」では、「学・会議」では、「学・会議」では、「は、「会議」では、「は、「会議」では、「は、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「会議」では、「	学生第3/10、3/18) 事本 る 査 関 活 し 及 び作 要 集 集に学 関
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)				成に関する事項 ⑤その他の広報活動に関す る事項 3適正な入学定員に関する 事項
	保保テいる場合では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	改善意見		(28) 今では、

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(<mark>認可時又は届出時)</mark>に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を( )書き</u>で付記してください。
  - 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 ・一般入学試験 ・推薦入学試験	① 平成28年度入試(平成29年4月入学生)からA0入学 試験を実施予定。 実施方法等については、検討中である。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
  - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

#### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況
  - FD委員会

27年度は看護学科、リハビリテーション学科の2学科で実施 28年度以降は看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施予定

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
  - ·第1回FD委員会 平成27年 5月14日 (教員5人、事務職員1人)
  - ·第2回FD委員会 平成27年 6月 4日 (教員5人、事務職員1人)
  - ·第3回FD委員会 平成27年11月27日 (教員4人、事務職員1人)
  - ・委員会の開催を補うものとして、主にメールで委員同士の情報・意見交換を頻繁に図った。
- c 委員会の審議事項等
  - ・前年度の活動報告・決算報告
  - ・今年度の活動と予算
  - ・学生による授業評価アンケートの実施手順の確認と実習用の内容検討
  - ・授業評価アンケート集計会社の見積と業者の選定
  - ・教員研修会と後援会について
  - ・次年度の活動と予算(案)

### ② 実施状況

- a 実施内容
  - ①教員研修会
    - ・教員研修会1を研究倫理委員会と合同で開催した。講師は札幌医科大学石埜正穂先生。倫理研修修了証明書を発行した。
    - ・教員研修会2では研究に重要な統計技法に関する講演を聴き、配布論文の統計部分の妥当性について グループワークを行った。講師は日本医療大学村松宰先生。
  - ②授業評価アンケート講義・演習用と実技用の実施
    - ・各授業の最終回に科目担当者がアンケートを配付し、学生が回収ボックスに投函。
    - ・授業評価アンケートは集計会社に依頼し、全科目集計、郡ごとの集計、個別科目の集計結果を算出

- ・全科目集計と群ごとの集計結果は学内に掲示(前期分は9月、後期分は翌年度の4月)
- ・個別科目の集計は科目担当者に返却
- b 実施方法
  - ・上記の実施内容に沿って適切に実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - ・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。
  - ・研修後のアンケート結果では、時期、内容等について肯定的評価が多かった。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・授業評価アンケートの結果は全般に高く、学科、学年によらず、平均は概ね4.00ポイント以上であった。 科目担当者が次年度以降の講義に活かすよう働きかけた。次年度からは、科目担当者は授業評価アンケートの集計結果、自由記述の結果を受け、どのように授業改善を図ったかをフィードバックする仕組みを設ける。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・学期毎に実施 前期7~8月 後期1~2月
  - b 教員や学生への公開状況,方法等
    - ・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分:9月 後期分:翌年度の4月
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。看護学科は平成27年度が開設2年目、リハビリテーション学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきております。

看護学科は平成27年度が開設2年目、リハビリテーション学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めていく方針である。

- ② 自己点検·評価報告書
  - a 公表(予定)時期
    - ・自己点検・評価報告書(平成26年度、27年度)を平成28年度上期に公表予定。
  - b 公表方法
    - ・自己点検・評価報告書を本学HPに公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成31年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、準備中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

0	100	<b>设置計画履行状況報告</b> 書							
	а	ホームページに公表の有無	(	有		無	)		
	b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(	28年	7月		)		